

KGA

'03秋・冬合併号
2003年12月25日発行



目次

平成15年度 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技.....1
平成15年度 第9回ジュニアゴルフ大会・若洲ゴルフリンクス.....6
平成15年度 第3回ジュニアゴルフ大会・朝霧ジャンボリーゴルフクラブ.....8
夏季ジュニア・ゴルフスクール(鷹之台会場).....9
平成15年度 関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権決勝競技.....10
平成15年度 関東ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技.....16
平成15年度 関東ミッドシニアゴルフ選手権決勝競技.....21
平成15年度 関東女子ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技.....25

平成15年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技.....28
第58回国民体育大会 関東ブロック大会ゴルフ競技.....31
新規加盟倶楽部紹介.....33
分科委員会.....34
平成16年度関東ゴルフ連盟主催競技日程表・月例競技日程表.....39
月例競技成績表・お知らせ.....40

表紙Photo 関東シニアゴルフ選手権決勝競技 富士小山ゴルフクラブ
(撮影・増田 収/KGA広報委員)

関東ゴルフ連盟

平成15年度 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技

希望は常に未来にあり

ジュニアは年々向上している

文・杉山通敬 (KGA広報委員) 写真・塚越克一 (KGA広報委員)

✧ 気になったエチケット違反

ジュニア競技は男女合わせて4つのカテゴリーに区分けされているが、注目を集めるのは15歳～17歳の男子の部である。参加者が多く、実力も伯仲しているからだ。それに、人格形成の基礎固めをする年頃でもあり、次代のゴルフ界を担う、いわば予備軍である。

彼らがどのようなゴルフをするか。何といっても競技ゴルフの興味は優勝争いにある。そのレポートをする前に、気になったことが2つあったので書いておきたい。

ジュニア競技はセルフバックで行われる。ほとんどの選手が足付きの軽便なバックを肩に担いでいた。それはよいのだが、カチャカチャとシャフトを鳴らしながら歩く者が多いのだ。先行組がグリーン上でパットしていても、おかまいなしである。4人1組なのでクワルテットで「カチャカチャ」を奏でる。グリーンに近づくにしたがって、音はフォルテになる。

観戦子には、それが気になって仕方がなかった。が、グリーン上でパットしている者も、音の発信者をまるで意に介する風がない。すでに当たり前のことになっているからなのだろうか。しかし、ゴルフのエチケットに反して

いることは自明なのだから、音をさせないように歩くべきである。エチケットはゴルファー共通のものなのだから、ジュニアだけに許される特例はないのだ。

もうひとつはバンカーの足跡である。観戦子の目に付いただけでも数カ所あった。ならしてある所でも、おざなりにしている所があり、レイキの段差がついていた。セルフバックなので、先を急いだり、気が回らなったりするのだろうが、エチケット違反にかわりはない。

他者への配慮をしながらプレーを進めていくことが、ゴルフならではの美徳なのだから、音にしろ足跡にしろ、その点を弁えて自らの徳を高めて



各クラスの優勝者。左から女子(12歳～14歳)若林、(15歳～17歳)吉田、男子(15歳～17歳)木下、(12歳～14歳)宇佐美の各選手



重いバッグを軽々と担いでいるが、「カチャ、カチャ」という音が…。

もらいたい。

✧ オトナの使命

さて、優勝争い。27ホールを終ったところで3選手に絞られた。最終組の岡部大輔選手が通算5アンダーの102、ひと組前の木下裕太選手が101でトップ。伊藤勇気選手が102。

どちらの組につくべきか、ちょっと迷ったが、まずはトーナメントリーダーのプレーを追うことにした。たとえ1打でも、リードしているものが最も勝者に近いのだ。残りの9ホール、木下選手は勝つためにどのようなプレーをするか。仮りに負けたら、なぜ負けたのか、それを見定めようと思った。

10番はバーだった。11番はフェアウェイウッドでティショットし、セカンドショットをピン上2メートルほどに乗せ、スライスを入る。12番と13番はともに2オン2パットのバー。

ティショットはよく飛ばし、アイアンショットもぶれない。プレーぶりも落ち着いている。勝者になるにふさわしい内容だったが、14番（511ヤード）でピンチが訪れた。ティショットが右にぶれ、林の梢に当たって後戻り。ボールは管理道路の上。フリードロップが許され、樹間を低い球で抜いてフェアウェイに脱出する。いささかもあわ

てる風はなかった。そして、第3打を1ピンほどに乗せ1パットで入れる。イン（パー35）は5ホールで2バーディである。

その後は危なげなくバーを連取して、2位伊藤選手に2打差をつけてゴールした。通算8アンダーはプロ顔負けの堂々たる優勝スコアである。

ジュニアのレベルは年々、向上している。素質のある若者が、志を高く持ち、真摯な態度でゴルフに取り組んでいるからに違いない。彼らには洋々たる前途が開けているように思われるが、彼らに良風美俗を植えつけるのはオト

ナの役目であり、ジュニアのレベル向上に欠くことの出来ない、オトナの使命でもあろう。木下裕太選手のプレーぶりにはチャンピオン良風が備わっていたことを喜びたい。

✧ チャンピオンの弁やよし

以下はチャンピオンとの一問一答。

—ゴルフを始めたのは何歳？

「8歳の時です。千葉見プロの指導する北谷津ゴルフガーデンのジュニア教室に入りました。最初は20〜30人いましたけど、だんだん少なくなり、それがかえってよかったんだと思います。教えてもらう時間が長くなったので」

—今も教わっているの？

「ハイ。主にバランスを崩さずに振ることと体重移動を注意するように言われています。振り抜



熱戦の合い間にリラックスした表情

いたあと、フォロースルーで右足でトントンと地面を叩けるようにしろって。バランスを崩したり体重移動ができないと叩けないんです」

—今日は勝てると思った？

「トータルで5か6アンダーなら勝てると思ったので、それを目標にプレーしました。優勝スコアを予想してチャレンジするのが面白いんです」

—14番はピンチだったね。

「体重移動がうまくできなかったのか、右ヘフケちゃいました。でも、管理道路の上でドロップができたので助かりました。5番アイアンで低い球を打って、第3打が3メートルぐらいに乗り、バーディが取れました」

—ドライバーショットはどのくらい飛ばす？

「だいたい280ヤードです。でも好きなのはパットとアプローチです。飛ばなかったのでスコアをまとめるにはそれがカギでした」

—将来の目標は。

「大学へ行って、大学の試合で上位に入りたいと思っていますが、まだその先のことを考えていません」

1年前の身長体重は167センチ、64キロだった。今は170センチ、69キロになったという。練習は週に5日、300球打つ。身心ともに伸び盛り。歩調を合せてゴルフのほうも伸び盛り。

—まだ、2年生だし、来年また会おうね。

「ハイ、また勝ちたいです」

✧ 世界で活躍するプロが目標

つぎに女子15歳〜17歳の部で優勝した、吉田弓美子選手との一問一答。

—あなたのプレーは観ることができなかったのだけど、35、35の70は立派だね。

「3番（502ヤード）で7をたたいた時は自分で何をやってるのかわからなくなりました。ティショットをひっかけて林に入れて、うまく出せずに、グリーンに乗せるのに5つもかかっちゃいました。16番（376ヤード）でも、ティショットはまあまあでしたけど、第2打が左の端に乗り、最初のパットが強すぎて、すっかりリズムを崩し4パットしちゃいました」



スタート前、先生の指示でお互いにボールの確認

—それなのに70（女子のパーは72）。バーディをたくさん取ったわけね。

「7つです。でもダブルボギーも2つあります。お父さんから、いつも通りのことをやればいいんだから思い切りやって来い、と言われたのが励みになりました」

—何歳からゴルフを始めたの？

「小学4年のときに父に練習場へ連れてってもらってすごく楽しかったんです。つづけてるうちに友達もできたり、試合にもでられるようになってから、ここを勝ち抜けばもっと上へいけるんだと思うようになりました。ゴルフって、スコアを意識するようになるといういろんなことが学べるので楽しくなります」

—今、いちばん学ばなければならないのは何かな。

「アプローチとパットがまだまだです。ドライバーは好きですけど」

—どのくらい飛ばすの？

「250ヤードくらいです。思い切り振るのが面白いんです」

将来は日本でも世界でも活躍できるようなプロになりたいという。身長は162センチ。「でも体重は内緒です」。明るくて屈託のない高校1年生である。「あなたの名前は憶えておきますからね、プロになって活躍して下さいよ」。そう言ったら、満面笑みをたたえて背いた。希望は常に未来にあり、と思わざるを得ない。

平成15年度(第24回) 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技成績表

男子15歳～17歳の部

●開催日 平成15年7月31日(木)～8月1日(金)

●開催コース 茨城ゴルフ倶楽部 西コース
6,713ヤード パー71

順位	選手名	学校名/学年	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
1	木下 裕太	泉 (2)	69	65	134
2	伊藤 勇気	鹿島学園 (1)	69	67	136
3	岡部 大輔	鹿島学園 (1)	69	69	138
4	真田 雅彦	埼玉栄 (2)	70	71	141
5	岡田 卓麻	千葉学芸 (2)	71	71	142
5	尾居 博英	千葉学芸 (3)	71	71	142
7	斉藤 麗	駿台甲府 (3)	73	70	143
8	谷山 優太	鹿島学園 (1)	73	71	144
9	日原 篤志	立 正 (1)	72	73	145
9	高野 真	クラーク東京 (2)	75	70	145
9	塚越 博仁	大宮開成 (3)	69	76	145
12	池之上拓也	鹿島学園 (2)	76	70	146
12	根田翔太郎	鹿島学園 (2)	74	72	146
12	小池 一平	駿台甲府 (3)	72	74	146
12	篠塚 直彦	鹿島学園 (2)	73	73	146
12	庄司 由	横浜商大高 (1)	77	69	146
12	宮里 政志	鹿島学園 (1)	70	76	146
12	瓜生 亮	厚木北 (3)	71	75	146
12	佐藤 圭介	鹿島学園 (2)	68	78	146
12	桜井 一輝	大宮開成 (1)	72	74	146
12	亀井 美博	鹿島学園 (1)	72	74	146
22	渡辺 権人	佐野日大 (1)	76	71	147
22	山田 将之	堀 越 (3)	74	73	147
22	篠原 貴史	横浜商大高 (3)	73	74	147
22	山田 大輔	稲 取 高 (3)	71	76	147
22	坂上 陸郎	埼玉栄 (1)	65	82	147
27	高原 亮	作新学院 (3)	76	72	148
27	高橋 陸人	佐野日大 (2)	73	75	148
27	芳賀 洋平	埼玉栄 (3)	78	70	148
27	窪田 新平	早大学院 (3)	76	72	148
27	伊東 和榮	星 陵 (3)	75	73	148
27	井上 伸也	埼玉栄 (2)	75	73	148
27	袴 謙二	鹿島学園 (1)	72	76	148
34	塚田 陽亮	ブラデントAC (12)	78	71	149
34	財津 良平	明大 中野 (3)	78	71	149
34	水村 福徳	埼玉平成 (3)	74	75	149
34	松尾 脩平	ラ・サール (11)	73	76	149
34	飯島 慎平	明大 中野 (1)	67	82	149
39	鬼沢 友秀	埼玉平成 (1)	76	74	150

順位	選手名	学校名/学年	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
39	渡邊 優登	千葉学芸 (2)	77	73	150
39	小林伸太郎	佐野日大 (2)	74	76	150
39	阿部 祐希	八 海 (2)	76	74	150
43	金子 真育	慶應義塾 (1)	77	74	151
43	岡田 壮広	佐野日大 (3)	75	76	151
45	田谷 智春	水 城 (3)	75	77	152
45	山田 稔	成 田 北 (3)	76	76	152
以上日本ジュニアゴルフ選手権競技出場有資格者					
47	山崎 翼	学館浦安 (3)	76	77	153
47	井上項吉士	鹿島学園 (1)	76	77	153
47	大堀 琢磨	開志学園高 (2)	76	77	153
47	青木 慶太	セントメリーズ (3)	75	78	153
47	頓所 卓	埼玉栄 (3)	73	80	153
47	東家 賢政	水 城 (3)	74	79	153
47	黒木隆太郎	埼玉栄 (2)	73	80	153
54	星野 真志	八 海 (3)	78	76	154
54	白石 和正	駒 大 高 (3)	74	80	154
54	秋元 幸広	クラーク東京 (2)	77	77	154
57	高橋 毅	埼玉栄 (2)	78	77	155
57	全 鉦柱	埼玉栄 (1)	78	77	155
57	中田 公威	伊東商業 (3)	76	79	155
57	千葉 康治	千葉日大一高 (2)	72	83	155
61	鈴木 一平	高崎商業 (3)	75	81	156
61	石田 翔	静岡学園 (1)	76	80	156
61	加藤 修基	稲 取 高 (3)	77	79	156
61	高橋 賢	アレセイア湘南高 (2)	78	78	156
61	谷口裕太郎	横浜商大高 (3)	75	81	156
66	三石 智啓	駿台甲府 (2)	77	80	157
67	伊藤 禎朗	立 正 (3)	78	80	158
67	柳橋 章徳	つくば秀英 (3)	77	81	158
69	櫻井 崇路	厚木北 (3)	78	81	159
69	青木 貴史	佐野日大 (2)	75	84	159
71	望月 智貴	晩 秀 (2)	78	82	160
72	根岸 航希	法政二高 (3)	78	83	161
72	白戸 翔	立 正 (3)	77	84	161
74	斉藤 瞬	八王子高 (3)	78	84	162
75	山本 隆之	下田北高 (3)	77	90	167
76	森 勝実	法政二高 (3)	76	94	170

女子15歳～17歳の部

●開催日 平成15年8月1日(金)

●開催コース 茨城ゴルフ倶楽部 西コース
6,176ヤード パー72

順位	選手名	学校名/学年	アウト	イン	合計
1	吉田弓美子	厚木北 (1)	35	35	70
2	佐藤 里菜	立 正 (3)	38	35	73
2	宮田 麻実	埼玉栄 (3)	35	38	73
4	藤田 幸希	調布南学院 (3)	39	35	74
5	加藤 妙美	佐野日大 (3)	40	35	75
5	小山恵利子	武蔵野 (2)	39	36	75
7	津島さやか	鹿島学園 (3)	38	38	76
8	綾田 結子	共立女子二高 (1)	38	39	77
9	新戸沙矢香	厚木北 (2)	40	39	79
9	藤木 歌織	笠間高 (3)	40	39	79
11	安田このみ	立 正 (3)	40	40	80
12	富松 優子	立 正 (3)	39	42	81
12	片野 由布	堀 越 (3)	39	42	81
以上日本ジュニアゴルフ選手権競技出場有資格者					
14	飯島 遥	堀 越 (3)	41	41	82
15	本部 智美	堀 越 (2)	41	42	83
16	田村 麻衣	立 正 (3)	44	41	85
17	小川菜奈美	千葉学芸 (1)	47	39	86

女子12歳～14歳の部

●開催日 平成15年8月1日(金)

●開催コース 茨城ゴルフ倶楽部 西コース
6,176ヤード パー72

順位	選手名	学校名/学年	アウト	イン	合計
1	若林舞衣子	加 茂 中 (3)	36	36	72
2	西村 友希	寺 島 中 (3)	39	35	74
3	亀井 綾夏	周 西 中 (3)	38	40	78
4	田中 理沙	中 込 中 (3)	43	36	79
以上日本ジュニアゴルフ選手権競技出場有資格者					
5	阿部 悠	加茂若宮中 (2)	44	38	82
5	富永麻友美	習志野台中 (3)	43	39	82
7	森 桜子	緑 岡 中 (2)	42	41	83
8	片平 光紀	秋 葉 中 (2)	43	41	84
9	木戸 愛	模範実学院中 (2)	43	43	86
10	剣持江里加	伊勢崎二中 (3)	43	45	88

男子12歳～14歳の部

●開催日 平成15年8月1日(金)

●開催コース 茨城ゴルフ倶楽部 西コース
6,386ヤード パー71

順位	選手名	学校名/学年	アウト	イン	合計
1	宇佐美祐樹	大 船 中 (3)	35	32	67
2	青木 龍一	鹿野六神 (3)	38	34	72
2	最所 昌弘	有 吉 中 (2)	38	34	72
4	高野 隆	新潟大長岡中 (2)	39	34	73
5	大溝 崇真	若 松 中 (3)	39	36	75
5	近藤 孝宣	西 川 中 (2)	39	36	75
5	水上 龍樹	学館浦安中 (3)	36	39	75
5	高柳 直人	大 洋 中 (3)	35	40	75
以上日本ジュニアゴルフ選手権競技出場有資格者					
9	常澄 裕一	成 東 中 (3)	36	40	76
10	秋本 久成	陽 北 中 (2)	42	35	77
10	吉田 研一	足立十六中 (3)	39	38	77
10	金子 達朗	日 大 中 (3)	39	38	77
10	鶴谷 竜一	落 合 中 (3)	38	39	77
10	大槻 智春	神栖四中 (2)	37	40	77
10	一柳 光輝	内 原 中 (2)	37	40	77
16	北川 祐生	修 徳 中 (1)	35	43	78
17	三上 諒	埼玉平成中 (3)	42	37	79
17	前田 男	埼玉平成中 (3)	41	38	79
17	岡田 勝麻	若 松 中 (2)	41	38	79
17	岩崎 誠	茂原南中 (2)	40	39	79
17	林 雄貴	旭 町 中 (3)	39	40	79
22	櫻井 将大	草 津 中 (2)	40	40	80
22	森井 裕太	滝ノ沢中 (2)	39	41	80
24	服部 大輔	千葉日大一中 (3)	39	42	81
25	袖山 哲朗	八 幡 中 (3)	42	40	82
25	柳 東賢	東京御茶屋中 (3)	41	41	82
25	永野 雄亮	三 和 中 (3)	41	41	82
25	坂上 伶央	埼玉栄中 (3)	38	44	82
29	荒木 宙音	河原塚中 (3)	43	40	83
29	阿部 達也	桜 丘 中 (3)	42	41	83
31	増永 慧	大山口中 (3)	46	38	84
32	富島 裕也	土浦六中 (3)	46	40	86
33	宇津野勇気	三鷹五中 (3)	42	46	88

合い言葉は 「スコアよりもマナーが先」

●開催日 平成15年8月26日(火) ●開催コース 若洲ゴルフリンクス(特設ティ) 5,128ヤード パー72
文・森口静彦 (KGA広報委員) 写真・舟橋一芳 (KGA広報委員)

平成15年度 第9回ジュニアゴルフ大会(若洲ゴルフリンクス)は、8月26日、小学生高学年(4・5・6年)の部(男・女)と小学生低学年(1・2・3年)の部(男・女)とにわかれて行われた。高学年の部は18ホールストロークプレー、クラブ制限10本、プレーオフはせず、同位表彰。低学年の部は9ホールストロークプレー、クラブ制限7本、表彰なしという条件である。且つ、ジュニアの親権者がスコアラーとしてそれぞれの組につくことは昨年同様であった。

7時30分から、1階ロビーでスコアラー説明会が開かれた。大鷲競技委員長から、本大会の目的は「子供にゴルフを楽しく教える」ことであり、子供の健康状態によく注意すること、また試合態度をもよく観察してもらいたいと懇切丁寧な要請があった。また、今年度から、いずれの会場でもクラブ本数の制限を実施することになったことに関



左から女子3位宮澤、2位星野、1位佐藤、男子1位小西、2位柘植、3位納富、花岡の各選手

連して、一部の父兄からクレームもあったが、子供の健康管理の観点から主催者側が決定したことであり、厳正に守るよう注意があった。

8時ジャストにアウト、インから高学年組が一齐にスタート。時折、強い真夏の太陽が顔をだすこともあったが、概ね高曇り。一日中海風が吹いて、真夏の大会としては比較的なコンディションであった。そのせいか、あるいはクラブ制限がよかったのか、気分が悪くなって棄権したのは僅かに1名のみであった。

9時44分スタートの低学年組が9ホールのプレーを終えた後、2時からハウス前庭でジュニアと父兄が全員集合。大鷲競技委員長より「スコアは8でも9でも構いません。人に迷惑をかけないで楽しいゴルフができればよいと思います」と挨拶、そして「今日付いてきて下さったお父さん、お母さん、そして委員の皆様にご感謝の挨拶をしましょう」との提案に従って、ジュニアが大きな声で「ありがとうございました」と挨拶、低学年の大会を終了した。

高学年の最終組が18ホールのプレーを終えたのは3時48分。そして4時20分からハウス前庭で表彰式が行われた。嶋田副委員長より成績発表。続いて大鷲競技委員長からメダルの授与が行われた。男子の部は1位小西貴紀君(上平井小6)71、2位柘植野徹君(横浜市立東本郷小5)73、3位花岡慎二郎君(三郷市立幸房

小6)74、同納富一輝君(江東区立第一大島小6)74。女子の部は1位佐藤絵美さん(日光市立清滝小6)77、2位星野麗香さん(北川根小5)79、3位宮澤亜衣さん(香掛小5)82であった。

メダル授与の後、大鷲競技委員長から「ゴルフはスコアが良いだけではいけない。エチケットがちゃんとできない人は勝ってもゴルファーとしては尊敬されない」とエチケットの大切さを強調したあと、4時30分、本大会は全て無事終了した。

ジュニア大会の模範、その名は奈央ちゃん

観戦していて、バッグと一体になってキビキビとフエアウエイを行く可愛い選手が目にとまった。静岡は富士市立青葉台小学校2年生の本多奈央ちゃんだ。自分の身長と同じ位の大きさのキャディバッグが2年生の女の子に重くない訳はないが、重そうな素振りを見せず、30℃を超える空の下を苦しそうな様子も見せず、軽やかに歩いていた。プレーも素晴らしいが、マナーがまた極めて優秀だった。具体的に言うと、まず、ティインググラウンドに上がってショットするまでの手順に無駄がない。そして、からだを目一杯使ったのショットは見ていると気持ちが良い。大きい弧を描き、思い切り良くフィニッシュが決まる。目土は埋める。バンカーのショット跡、足跡はレーキで丁寧にならす。グリーンにオンしてからの手順がまた立派だ。グリーンのカラーを歩いて自分のボールに近寄り、マークする。遠い人のために旗を持つ。抜いた旗は静かに邪魔にならない場所に置く。他の人がパットしている間に自分のラインを読んで、自分の番になると速やかにパットする。全てがスピーディに行われるので、高学年(男子)の最後の組にビタリと付いて、遅れることはなかった。エチケット、マナーの点に於いて誠に結構、ジュニア大会の模範、いや、全国レベルの大会でも模範になるプレーだった。

プレー終了後、スコアラーのお父さん本多広幸氏に話を伺った。静岡県富士市を朝4時に出てきたそうだが、若洲の大会に参加するのは初めて。奈央ちゃんが練習場に出たのは4歳の頃。広幸氏自身9歳の頃からゴルフをしていたが、奈央ちゃん



大きなバッグを担ぐ本多奈央ちゃんとお父さんの広幸氏

んとはプレーしながら、一緒に回っている人に対する配慮等、その場その場で指導して来られたそう。今日は良い子だったが、たまたまです」と謙遜されるが、実践を通じた指導が身につけていることは間違いない。奈央ちゃんは、ゴルフのほかにヒップホップダンスが大好きだそう。コースを軽やかに歩く姿はまさにゴルフリンクスのヒップホップダンサーの趣きがあった。

ジュニアの大会では、毎度のことながら行儀の悪さが問題になることが多い。しかし、今回の大会で奈央ちゃんに会えてさわやかな気持ちになれたのは嬉しい経験だった。IOC委員、小金井CC理事長、相模原GC理事長等歴任された高石真五郎氏は曾孫の初節句を祝って「歩むより笑顔がさきの初節句」という慈愛溢れる俳句を残された。この秀作をお借りして、ジュニアが健全なゴルファーとして成長するように祈念しつつ、次の一句を贈りたい。

「スコアよりマナーがさきの初コンペ」

なお、今大会にJGAの塩田良局長がスナッグ(軟式ゴルフ)用具を持参された。プラスチック製の大きなヘッドのクラブでテニスボールに似た柔らかいボールを打つゴルフ入門のためのもの。既に本物のゴルフボールを打っているジュニアには物足りないと思うのだが、何にでも関心の強いジュニア達が勢揃い、練習グリーンを使って大鷲競技委員長と一緒にプレーを楽しんだ。ジュニアたちにとって若洲の夏の思い出の1ページとなったことだろう。

富士の裾野、霧の中の大熱戦

8月18・19日

第3回ジュニアゴルフ大会は、去る8月19日、朝霧ジャンボリーゴルフクラブで行なわれた。大会に先立ってジュニアスクールが開講され、小学生の低・高学年58名が霧の同クラブで練習に、競技に熱のこもった2日間を過ごした。

写真・増田 収 (KGA広報委員会)

大きなバッグを背に霧のフェアウェーを
元気に歩く低学年の小学生たち



グリーン外からのパットをプロから教わる



スタート前「お互いにボールを確認しあって…」とプロが注意



「お願いします」。スタート前の挨拶



霧のため中止。大鷲委員長のお話がつつく



ディボット跡に目土も忘れず

夢は大きく、球は青空へ！

8月25日

鷹之台ジュニアゴルフスクールは8月25日、伝統を誇る鷹之台カンツリー倶楽部で行なわれた。今回は初級者25名、中・上級者102名が一堂に集まり、社日本プロゴルフ協会、社日本女子プロゴルフ協会のプロが熱心に指導。エチケット、マナー、そして技術に大きな成果を挙げた。

よきゴルファーを目指して、
一球一球に熱がこもる



洗面台を使ったらこのタオルで…とマナーを強調する大鷲委員長



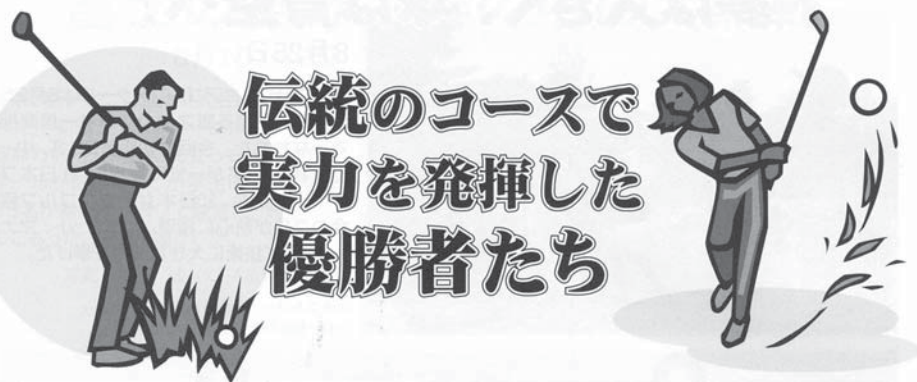
朝7時にはもう受付の前に緊張した顔が並ぶ



ひと練習終わって、みんなでボール集め



日傘をクラブ代わりに、プロの説明に耳を傾ける



——夢を乗せて2児の母もベテランも楽しくプレー——

文・山田 和臣 (KGA広報委員) 写真・塚越 克一 (KGA広報委員)

平成15年度 第9回 関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権は、幾多の公式競技を開催し来年50周年を迎える伝統の鷹之台カンツリー倶楽部で、11月4日、男女Bクラス、11月10日男女Aクラスを行なった。

女子Bは佐々木末子（葉山国際）がネット65、男子Bは鈴木幸男（千葉県アマチュアゴルフ協会）が、ネット64で優勝した。さらに女子Aは三枝勝子（あづみ野）がネット70、男子Aは小泉勉（穂高）が66で優勝した。

手術後のハンディを克服

「練習日は大雨、これ以上の悪い天気はないと決めて出場、そうしたらうって変わって絶好のゴルフ日和、ラッキーでした。」

優勝した女子Bクラス佐々木末子は、晩秋のゴルフ日和をこんなふうに表現する。佐々木の均斉のとれた168センチの長身から繰り出すドライバースョットは、つねに180～200ヤードに達し、2児の母親とは思えない若々しさを発揮していたのが目立った。

佐々木は5番ホールでトリプルボギーとつまづ



Aクラス（女子）優勝の挨拶をする三枝選手



Aクラス（男子）優勝の小泉選手の挨拶



Bクラス優勝の佐々木選手（左）と鈴木選手



来年50周年を迎える伝統の鷹之台カンツリー倶楽部

いたが、その前の3番でバーディ、1、8、10、12、15、18番でがっちりとパーを奪取。グロス90という好スコアにつなげ、優勝に結びつけた。

一方男子Bクラス優勝の鈴木幸男は、なんとことし胃の摘出手術を行ない、それを克服しての優勝だった。手術の結果、10%ほど痩せたが、リハビリを兼ねて毎朝ウォーキングに専念。筋力も徐々に回復し、数ヵ月前から月に2回ほどコースをまわれるようになった。

「それだけに嬉しさも人一倍」

と鈴木はいうが、まだ力を入れると手術した部分が痛く、引きつれるという悪条件の中での優勝だけに喜びの言葉も聞く人の胸を打った。

鈴木は50歳。「ドライバーの飛距離は230ヤード」と

いうが、当日は「力むと傷口が痛む」ということで、必要以上に力を入れずに「コントロール主体に打ったのがよかった」と自己評価をしている。ケガの功名については失礼かもしれないが、優勝という金字塔もさることながら、「力まずに…」というプレーは、自分のスコアアップに大きな手掛かりを発見したといえるかもしれない。

アンダーハンディに出場する人たちは、まさに多士済々だが、練習場で熱心に練習をするある一人のベテランゴルファーに筆者の目が釘付けとなった。その人の名は林定雄（袖ヶ浦）である。年齢は78歳。出場者中、最高年齢と聞くと、20数年愛用のスチールシャフトのアイアンを軽々と振り切る。見ていても若々しく、しかも楽しげである。ハンディキャップ戦だからこそ、お目にかかるわけで、改めてこの選手権の意義を教えられた感があった。

立派なコースでプレーできて感激

Aクラス——この日は朝から雨模様で、昼の気温は12度しかない肌寒い一日であった。しかし競技は、この寒さを吹き飛ばすほどの熱戦だった。

女子で優勝したのは、三枝勝子（あづみ野）でグロス81、ハンディ11、ネット70と堂々たるものの。

「私の所属コースが12月中旬からクローズしてしまいますので、きょうはここの最大の思い出をつくろうと思って頑張りました」



Bクラス最年長（78歳）の林選手。表情も若々しい



1番ホールのスタート風景。緊張の顔、顔、顔…



マーカーから渡されたカードを慎重に点検するAクラスの選手たち

と三枝は優勝の弁をこんなふうに締めくくった。しかし、三枝の実力はかなりなもので、練習ラウンドも省略して、前夜、会場近くのホテルに到着という強行軍での優勝が、彼女の實力のほどを物語っている。

三枝はBクラス優勝の佐々木末子と同様、2児の母。ラウンドは月に4~5回という恵まれた環境にあるといえる。ドライバーの飛距離は200~210ヤード。三枝はインタビューの最後に「きょうはこんな立派なコースでプレーできて感激です」と感謝の言葉を残して、思い出として永久に残る鷹之台カンツリー倶楽部をあとにした。

若い人にはまだ負けたくない!

男子Aクラスで優勝したのは小泉勉(穂高)。グロス78、ハンディ12、ネット66という素晴らしいスコアを残している。

小泉はゴルフ歴5年、42歳という中堅選手だ。しかし、この選手権には女子Aクラス優勝の三枝と同じように練習ラウンドなしでの出場である。小泉はこれが初参加ではない。第5回大会(小金井)にもBクラスで出場している。この4年間で着実に力をつけて、ことしはAクラスへグレードアップしての出場である。



山田広報委員(左)のインタビューを受けるAクラス最年長(72歳)の井上選手

小泉のドライバーの飛距離は、若さを誇るだけに240ヤードとかなりのロングヒッターだ。小泉は「自分のゴルフがどこまで通用するか」と期待満々の参加だったが「夢がかなって嬉しい」と念願の優勝に大喜びである。

男子Aクラスの最年長者は、Bクラスの林と同じ袖ヶ浦所属の井上義則、72歳である。月に5、6回はコースに現われるという疲れ知らずのベテラン。本競技予選のときはハンディ12であったが、決勝競技のときは11にアップしている。70歳を過ぎて、なおハンディを縮めているというのは凄い。「若い

人とプレーしていると、自然と力がみなぎってくる。まだまだ負けたくはありません」と温和な表情で元気に語る。

アンダーハンディ競技には、スクラッチの選手権競技にはないゴルフのほんとうの楽しみが垣間見られる。ただ、こうした楽しみの雰囲気の中に、バンカー内への出はいりに対する無神経さやプレー態度などが気になるプレーヤーが若干見受けられたことはまことに残念であった。参加者の年々進歩する技術とともにエチケット、マナーの成熟度も高めたいものである。

平成15年度(第9回) 関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権決勝競技成績表 — KGA杯 —

●開催日 平成15年11月10日(月) ●開催コース 鷹之台カンツリー倶楽部 6,556ヤード パー72

男子Aクラス エントリー数 102名 出場者数 93名

順位	氏名	所属	GROSS	HC	NET
1	小泉 勉	穂高	78	12	66
2	石塚 己知男	千葉県アマ協会	80	9	71
3	斉藤 貴以	あづみ野	82	11	71
4	吉永 昌民	岡部チサン	80	9	71
5	吉田 一男	阿賀高原	80	8	72
6	加藤 勝則	阿賀高原	77	5	72
6	増岡 精次	佐久平	82	10	72
8	石田 健司	小田原・日動御殿場	85	12	73
8	野村 隆夫	千葉実業	85	12	73
8	手塚 幹雄	東宇都宮	78	5	73
8	白 源正	ヨネックス	76	3	73
12	小野 聡	あづみ野	83	9	74
12	谷 修二	総成	85	11	74
14	藤井 隆之	前橋	82	7	75
14	松元 昌史	あづみ野	77	2	75
14	高山 正二	神奈川県ゴルフ協会	85	10	75
14	三沢 正拓	神奈川県ゴルフ協会	87	12	75
14	鈴木 実	中山	84	9	75
14	横山 邦彦	南千葉	84	9	75
14	内田 進	都留	82	7	75
21	石田 久一郎	長岡	85	9	76
21	柳澤 修	神奈川県ゴルフ協会	87	11	76
21	井出 晴夫	佐久平	86	10	76
21	半田 次郎	千葉グリーンパーク	88	12	76
21	林 紀良	木更津	84	8	76
21	岡崎 恭司	鶴舞	84	8	76
21	村田 三郎	セントラル	79	3	76
21	増淵 正己	東宇都宮	85	9	76
29	中川 孝弘	石地シーサイド	80	3	77
29	村岡 孝	信濃	83	6	77
29	戸田 広昭	ユニオンエース	81	4	77
29	坂崎 岩	千葉実業	83	6	77
29	田中正則	JGA個人会員	89	12	77
29	亀田 啓二	千葉実業	85	8	77
29	八子 克己	ヨネックス	83	6	77
29	柴田 定市	昇仙峡	88	11	77
29	古茂田 稔	新津	88	11	77
29	徳田 順弘	JGA個人会員	85	8	77
29	佐野 三彦	春日居	80	3	77
29	遠藤 徳一	大栄	86	9	77
29	飯島 正	春日居	88	11	77
29	山本 節博	小田原・日動御殿場	89	12	77
43	酒寄 光男	東宇都宮	86	8	78
43	武石 勲	富士見高原	89	11	78
43	関 晴樹	津久井湖	87	9	78
43	大久保 幸徳	日高	85	7	78
43	本間 章浩	東名厚木	88	10	78
43	矢ヶ崎 隆夫	昭和の森	81	3	78
43	峯島 宜幸	万木城	84	6	78
43	桑嶋 定利	かずさ	90	12	78
43	菊池 満樹	諏訪レイクヒル	87	9	78

順位	氏名	所属	GROSS	HC	NET
43	小林 定雄	ロイヤルオーク	88	10	78
53	上原 判	神奈川県ゴルフ協会	91	12	79
53	長谷川 力男	阿賀高原	91	12	79
53	上田 清祐	千葉グリーンパーク	85	6	79
53	井上 隆憲	JGA個人会員	89	10	79
53	新井 悟	千葉グリーンパーク	88	9	79
53	根本 孝一	セントラル	90	11	79
53	小林 信三	GMG八王子	88	9	79
60	井上 義則	袖ヶ浦	91	11	80
60	永井 宏	昭和の森	85	5	80
60	山村 功	小田原・日動御殿場	92	12	80
60	飯作 全彦	都留	89	9	80
60	小澤 博	千葉県アマ協会	85	5	80
60	内田 功一	埼玉	89	9	80
60	萩原 東洋	春日居	92	12	80
60	内山 敬司	豊科	86	6	80
68	露木 勝治	愛鷹	90	9	81
68	鎌原 健二	JGA個人会員	92	11	81
68	熊谷 好真	JGA個人会員	90	9	81
68	村松 嘉文	大相模	92	11	81
68	田村 和義	東京五田市	92	11	81
68	宮入 捷也	グランステージュス子	93	12	81
68	富士 聖	かずさ	88	7	81
75	久富 和行	富士見高原	88	6	82
75	萬羽 増雄	あづみ野	91	9	82
75	間藤 誠司	エンゼル	89	7	82
78	津田 宏尚	古河	92	9	83
78	丸谷 吉郎	江戸崎	92	9	83
78	下里 裕	春日居	87	4	83
78	小菅 宏一	笹神五頭	90	7	83
82	山田 寿	阿賀高原	91	7	84
83	斉藤 章次	JGA個人会員	92	7	85
84	大庭 和夫	万木城	95	9	86
84	本多 八男	ロイヤルオーク	94	8	86
86	秋山 孝男	昇仙峡	93	6	87
87	畔上 勝	JGA個人会員	100	12	88
88	太田 貴一	市原	98	7	91
88	渡辺 忠吉	阿賀高原	99	8	91
88	小泉 博生	秦野	100	9	91
失格	斉藤 定男	JGA個人会員			
失格	加藤 礼吉	JGA個人会員			
失格	小澤 知幸	あづみ野			
欠場	横山 正一	白帆			
欠場	小俣 明	鶴舞			
欠場	長原 廣志	メイプルポイント			
欠場	河西 嘉吉	小田原・日動御殿場			
欠場	町山 義昌	かずさ			
欠場	成末 秀男	かずさ			
欠場	桜井 哲弥	小千谷			
欠場	山本 泰朗	セントラル			
欠場	雪 正文	阿賀高原			

平成15年度（第9回）関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権決勝競技成績表
— KGA杯 —

- 開催日 平成15年11月4日（火）
●開催コース 鷹之台カンツリー倶楽部
6,556ヤード パー72

男子Bクラス エントリー数 88名 出場者数 83名

順位	氏名	所属	GROSS	HC	NET
1	鈴木 幸男	千葉県アマ協会	83	19	64
2	高木 千秋	ゴールデンレイクス	78	13	65
3	渡辺 正一	新発田 城	89	23	66
4	金山 哲也	ダイヤグリーン	83	17	66
5	金澤 淳一	阿賀 高原	83	16	67
6	田村 仁宏	JGA個人会員	85	16	69
6	福喜多守嘉	鶴 舞	87	18	69
6	伊藤 良博	東 宇 都 宮	85	16	69
6	斉藤 勝	千葉 夷 隅	89	20	69
10	黒田 敏之	立野クラシック	86	16	70
10	山入 端 清	千葉グリーンパーク	87	17	70
10	小布施喜康	斑 尾 高 原	84	14	70
10	工藤 登	KGAカード会員	83	13	70
10	荒巻 徹	神奈川県ゴルフ協会	83	13	70
10	森 正	袖ヶ 浦	91	21	70
16	堀江 清司	東 宇 都 宮	87	16	71
16	吉原 正幸	南 千 葉	88	17	71
16	長井 靖夫	ミサワカーディナル	85	14	71
16	松原 秀俊	千葉グリーンパーク	84	13	71
16	仲安 光宏	JGA個人会員	85	14	71
16	福田 二郎	唐 沢	84	13	71
16	牧野 照嗣	千葉 夷 隅	85	14	71
23	若林 徹	東 宇 都 宮	87	15	72
23	眞板 淳	か ず さ	87	15	72
23	小金井正美	ロイヤルスター	89	17	72
23	勝野 則男	あ つ み 野	86	14	72
23	渡辺 洋	府	94	22	72
23	渡辺 明達	朝霞ジャンボリー	98	26	72
23	林 定雄	袖ヶ 浦	87	15	72
23	辻村 好雄	唐 沢	94	22	72
23	鈴木 惟夫	江 戸 崎	87	15	72
23	田崎 良三	JGA個人会員	85	13	72
23	潮永 光市	神奈川県ゴルフ協会	94	22	72
34	阿部 治	神奈川県ゴルフ協会	89	16	73
34	新井 祐一	太 田 双 葉	88	15	73
34	内藤 吉文	昇 仙 峡	87	14	73
34	江沢 昌己	千葉 夷 隅	85	12	73
34	宮上 克一	立野クラシック	88	15	73
34	幸田 弘孝	総 成	87	14	73
34	山本 浩孝	市 原	89	16	73
34	山口 武重	菅 平 高 原	86	13	73
34	堀之内 章	神奈川県ゴルフ協会	86	13	73
43	駒林 進四郎	阿賀 高原	89	15	74
43	熊澤 英男	日 高	89	15	74

順位	氏名	所属	GROSS	HC	NET
45	木村 英一	JGA個人会員	98	23	75
45	山根 洸	愛 鷹	88	13	75
45	小野坂勝彦	唐 沢	89	14	75
45	山口 昇男	富 里	94	19	75
45	大杉 浩三	長 瀬	89	14	75
45	小野 克志	あ つ み 野	88	13	75
51	小林 利弘	JGA個人会員	95	19	76
51	廣井 正夫	東 宇 都 宮	91	15	76
51	橋田 利一	泰 野	89	13	76
51	下平 雅伸	菅 平 高 原	89	13	76
51	岩月 十吉	あ つ み 野	94	18	76
51	平松 亮二	メイプルポイント	89	13	76
51	内藤 治	諏訪レイクヒル	89	13	76
58	市倉 英和	神奈川県ゴルフ協会	91	14	77
58	牧野 直樹	松 本	93	16	77
58	近藤 幸一	東京 国 際	98	21	77
58	増田 利久	館 山	90	13	77
58	金子 秀雄	石地シーサイド	93	16	77
63	渡辺 雄二	朝霞ジャンボリー	97	19	78
63	内 歳保	昇 仙 峡	96	18	78
63	三輪 勝也	長 瀬	90	12	78
63	根上 剛	JGA個人会員	100	22	78
63	標 正夫	春 日 居	101	23	78
63	山寺 三男	春 日 居	91	13	78
69	吉原 徳太郎	諏訪レイクヒル	96	17	79
69	樋口 裕幸	JGA個人会員	94	15	79
69	佐藤 愛彦	JGA個人会員	96	17	79
69	本間 義人	新発田 城	98	19	79
73	山崎 剛	あ つ み 野	98	18	80
73	河野 徹	KGAカード会員	98	18	80
73	橋 俊紀	エンゼ ル	92	12	80
73	菊地 利雄	東 宇 都 宮	94	14	80
77	半田 靖	JGA個人会員	95	14	81
77	星野 行男	唐 沢	102	21	81
79	山崎 武雄	多 摩	96	14	82
80	村松 一男	新 潟	97	14	83
80	前田 浩	梅 ノ 郷	100	17	83
82	市川 連	柏 崎	100	15	85
失格	古屋 仁司	甲 斐 駒			
欠場	伊藤 正文	横 浜			
欠場	山口 利世	白 帆			
欠場	館澤 吉明	JGA個人会員			
欠場	朝比奈洋光	JGA個人会員			
欠場	清水 光男	小田原・日輪御殿場			

- 開催日 平成15年11月10日（月）
●開催コース 鷹之台カンツリー倶楽部
6,308ヤード パー74

女子Aクラス エントリー数 31名 出場者数 31名

順位	氏名	所属	GROSS	HC	NET
1	三枝 勝子	あ つ み 野	81	11	70
2	南 相禮	木 更 津	83	11	72
3	胡桃 光江	立 川 国 際	92	18	74
4	渡谷 知里	フォレスト	81	7	74
5	横山 仁美	江 戸 崎	94	19	75
6	江本 和子	あ つ み 野	88	13	75
6	竹節 嘉恵	長野県ゴルフ協会	90	15	75
8	中田 勝子	立 川 国 際	91	15	76
8	徳島 妙子	新発田 城	89	13	76
8	吉田 美由紀	白 鳳	86	10	76
11	川田 和美	千葉 夷 隅	94	17	77
12	岡寛恵美子	葉山 国 際	90	12	78
12	橋本 美奈	立 川 国 際	93	15	78
12	山口 環	JGA個人会員	90	12	78
15	谷 早苗	葉山 国 際	93	14	79
15	武田 悦子	嵐 山	94	15	79
15	岩本 昌美	富士御殿場	91	12	79
15	高瀬 三佐子	高 根	97	18	79
15	今井 啓子	白 鳳	92	13	79
20	水澤 真澄	JGA個人会員	93	12	81
20	松元 美幸	エンゼ ル	98	17	81
22	斉藤 玲子	立 川 国 際	100	18	82
22	加賀美圭子	小 淵 沢	95	13	82
22	代田 幸子	唐 沢	96	14	82
25	須貝 好	昇 仙 峡	98	15	83
26	佐藤 さゆり	富士 箱 根	102	18	84
26	浅生 俊子	神奈川県ゴルフ協会	100	16	84
28	中村 京子	東 宇 都 宮	100	15	85
29	田村 淑子	昇 仙 峡	101	14	87
30	小林 弘美	長野県ゴルフ協会	98	10	88
30	黒野 美奈	富士御殿場	101	13	88

- 開催日 平成15年11月4日（火）
●開催コース 鷹之台カンツリー倶楽部
6,308ヤード パー74

女子Bクラス エントリー数 40名 出場者数 38名

順位	氏名	所属	GROSS	HC	NET
1	佐々木 末子	葉山 国 際	90	25	65
2	柴田 裕美子	千葉県アマゴルフ協会	92	27	65
3	金沢 和子	長 岡	96	29	67
4	泉水 由美子	JGA個人会員	90	22	68
5	和崎 敬子	泰 野	92	24	68
6	志村 幸子	GMG八王子	89	20	69
6	松永 志有子	武 蔵 野	94	25	69
6	関原 眞理子	石 坂	94	25	69
6	増田 賢代子	長 野 野	89	20	69
10	大蔵 万里子	高 根	90	20	70
10	堀之内 美	神奈川県ゴルフ協会	91	21	70
10	高橋 美恵子	宇 都 宮	92	22	70
10	長沢 良江	JGA個人会員	92	22	70
14	黒岩 君枝	あ つ み 野	95	24	71
15	赤羽 綾子	東 宇 都 宮	99	27	72
16	富岡 君江	小田原・日輪御殿場	102	29	73
16	永田 万弓	春 日 居	100	27	73
16	宮本 早苗	長野 国 際	94	21	73
19	石毛 寛子	千葉県アマ協会	95	21	74
19	丸山 百合枝	GMG八王子	96	22	74
19	目崎 セツ	小 千 谷	98	24	74
19	洗 秀子	都 留	96	22	74
19	本多 博子	JGA個人会員	99	25	74
24	中水 流キミ子	万 木 城	98	23	75
24	上野 恵利子	JGA個人会員	99	24	75
26	丸茂 富美子	甲 府 国 際	100	24	76
26	新井 百合子	松 本 浅 間	102	26	76
26	三阪 茂子	廣 済 堂 埼 玉	98	22	76
29	上林 さおり	小 淵 沢	101	24	77
29	新井 敬子	都 留	105	28	77
31	長原 美保子	メイプルポイント	101	23	78
31	村野 万里子	皆 川 城	99	21	78
31	山田 雪子	浜 野	102	24	78
34	新井 久美子	JGA個人会員	105	26	79
34	藤本 澄恵	東 宇 都 宮	103	24	79
36	野内 澄江	JGA個人会員	106	26	80
37	矢野 文子	富 里	103	22	81
37	山本 郁美	神奈川県ゴルフ協会	109	28	81
欠場	近藤 道子	JGA個人会員			
欠場	西野 雅久子	愛 鷹			

優勝へ導いた2つのパー・パット

—ゲーム後半に幸運を呼び寄せた金浩延選手の実力—

文・塩田 正 (KGA広報委員) 写真・片山 晴美 (KGA広報委員)
塚越 克一 (KGA広報委員)

◎綱渡りのゴルフの裏側

優勝した金 浩延 (都賀) は、表彰式の席上「綱渡りのゴルフで、とても勝てるとは思えなかった」と最終日の激戦をこう振り返った。

金の第1日目のスコアは74。同じ74のスコアをマークしたのは8人もいて、3位タイであった。リードしたのは70でまわった角田充弘 (東名)。2番手にはバーブレイの飯塚裕一 (藤岡) が続いた。金より1ストローク遅れた75には、大山和則 (スプリングフィールド) をはじめとする6人が、虎視眈々と優勝を狙う。

金はこうした激戦を抜け出していったのだが、最終日、そのきっかけとなったのは2番 (517ヤード、パー5) で挙げたイーグルだ。

金はいう。



初優勝にニッコリの金選手

「ドライバーがよく飛んで、2打が7番アイアン。これがピン横、やや手前5ヤードにつき、これがはいってはずみがついた」

金は次の3番ホール (461ヤード、パー4) で2打をオーバーさせてボギーとしたが、6番ホール (395ヤード、パー4) では3ヤードを決めてパーディをとり、3番のボギーを帳消しにした。

ハーフを終わって、首位はアウトを35でまわった飯塚で、前日トップの角田、それにこの日2番で劇的なイーグルを奪取した金に、それぞれ1ストロークリードした。

しかし、明暗を分ける場面は12番ホール (166ヤード、パー3) で起きた。ここでトップを走っていた飯塚と2位追走の角田がともにボギーを叩き、パーの金と飯塚が並び、角田が1ストローク遅れるという新しいシチュエーションが現出した。そして13番 (355ヤード)、短いこのパー4のホールで、飯塚が信じられないトリプルボギーで、トップ争いから大きく後退した。

飯塚の脱落によって、優勝争いは金と一組後からまわる角田との一騎打ちを思わせたが、インにはいって伏兵が現われた。中野正義 (霞ヶ浦出身) である。中野は第1日目74グループ (3位タイ) の一人だった。

中野は最終日アウトで39を叩き、この時点で飯塚に6打、金に5打差をつけられていた。完全に圏外と思われていたが、インにはいって、猛然と追い上げを開始した。中野は11、12、13番を3連続パーディ、14番こそボギーにしたが、17番ショートホール (230ヤード)、18番ロングホール (572ヤード) でいずれもパーディを挙げ、結局、32でまわり、2

日間トータル、1オーバーの145で上がってきた。

前述のように12番を終わったところで、金と角田がイーブンパーという状況だけにトータル1オーバーの中野が俄然注目を集めることになった。

しかし、金は14番 (463ヤード)、17番ショートホールでボギーの危機を迎えたが、14番2打、17番3打のパーパットをそれぞれ入れて、まさに「印刷通り」の36で上がって、念願の優勝を掌中にした。

冒頭にも記したように金は「綱渡りのゴルフ」とみずからを評したが、たしかにバーがずらっと並ぶその裏側を聞いてみると、苦心のスコアメイクがうかがわれる。前出の14番、17番がその典型的な例だ。

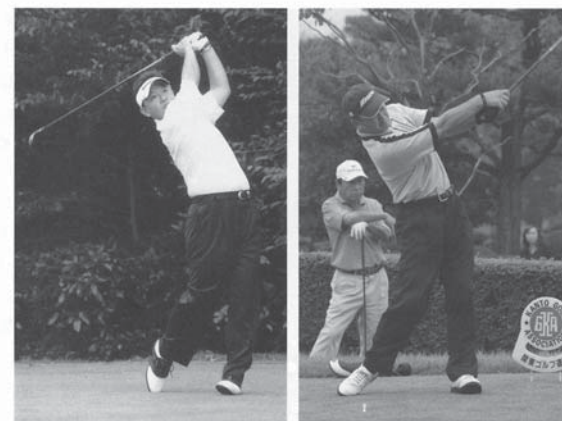
14番のバーは、ティショットを右の林に入れ、それをフェアウェーに出して、つぎに7番アイアンでピン左2ヤードに寄せてパーに結びつけたものであり、17番ではティショットを打ってはいけないサブグリーンの左へそらし、そこからのショットを奇跡的にもピン横3ヤードに寄せてのパーだった。

金はこの2ホールでパーをとれたのが大きいと、優勝へのキーホールだったことをプレー後に述べている。

どんな試合でも、優勝の蔭には、ボビー・ジョーンズがいった「神と人との合作」を思わせるような「幸運」があるが、金の場合はそれが14番であり、17番だったというわけである。



「ミッドアマはやり甲斐がある」と原選手



金選手のドライバーショット

後半、追いついて2位の中野選手

◎ミッドアマで試すベテラン選手

ミッドアマには、300ヤードヒッターがざらにいるという学生ゴルファーがいない。その代わりシニアクラスの実力者の顔がかなり見える。そしてその年配者が、若い人に負けてはならないと、その心意気をこのミッドアマにぶつけている。

原継雄 (58歳=横浜) は関東ミッドアマの常連であると同時に、これまでに関東シニアでも中心的な選手で知られている。もちろんこの大会でも155ストロークで36位、日本ミッドアマ選手権への金的を射止めている。

「僕は関東アマよりもこのミッドのほうが面白くてしょうがないんです。飛ばし屋揃いの学生がいないので、僕らの歳でも技術を生かせば十分勝負になるからです。」

原はこう前置きして「例えばアゲンストのホールを攻めるときでも若い学生は、力があるのでふけ上がってしまう。ところがわれわれは、そんな風の中に低く打つ技術をもっていますからね」と研ぎすまされたテクニックで勝負できるし、またクラブやボールの発達も大きな味方だと強調する。例えば、原のバッグには7番ウッドと9番ウッドがはいっているが、200ヤードなら7番でコントロールできるし、それ以下なら9番ウッドでグリーンを十分狙っている。



「若手と一緒にのうが力がある」と加部選手

原は技術と用具の進歩で若い人に負けずに勝負できるので、関東ミッドアマが楽しくてしょうがないと顔が自然にほころびる。

加部嗣男（東名）は原よりもさらにベテランだ。66歳でことしも上位47名に与えられる日本ミッドアマ選手権への切符を手にした。

加部は昨年、ゴルフの専門誌「ゴルフダイジェスト」に「70歳になるまで日本アマ選手権出場を目指す」と大きな目標を立てた。結局、ことしは日本アマ出場は果たせなかったが、そのかわり「日本」へはミッドアマ選手権に出場することになった。

加部は第1日目80とつまづいた。そして最終日の2日目も、6番ホールまで6オーバーといつにな

く冴えないゲーム運びで、「日本」出場へ絶体絶命のピンチに立たされた。

だが、前日、ホテル近くの練習場で400発打った効果が、それ以後のホールで遅ればせながら発揮しはじめた。加部は7番から18番まで2バーディ、1ボギーの1アンダーでまわってきた。シニアとミッドシニアの資格を有する加部だが「シニアよりも若手と一緒にのうがやり甲斐がある」というだけあって、その腕前は若い人に決してひけをとらない。あと3年後に70歳を迎えるが、このぶんどと、加部の日本アマ出場も夢ではなさそうである。

中島廣行（秦野）はことし60歳になった。最終日に72をマーク、38位タイで、日本ミッドアマ選手権への関門を突破した。

中島の最大の「武器」はロングアイアンだ。ふつつう60歳を過ぎると、バッグの中には、フェアウェーウッドが増えて、ロングアイアンが減っていくものだが、中島は「ロングアイアンが一番好きなクラブ」で飛距離200ヤード～210ヤードという。

中島は「学生がいないので、何んとかやれたが……」と謙虚だが、スコアを見るかぎり、最終日のアウトはなんと34でまわっている。この34というスコアは優勝者の金と並ぶその日のアウトのトップのスコアである。ロングアイアンの切れ味が続くかぎり、ミッドアマでまだまだ暴れまくるに違いない。このように関東ミッドアマには、「年寄り」になれないベテラン選手がひしめいていて、学生のいない選手権を盛り上げている。



「武器はロング・アイアン」という中島選手



3位タイの角田選手（左）と飯塚選手



平成15年度（第3回）関東ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成15年9月25日(木)、26日(金) ●開催コース 袖ヶ浦カントリークラブ 袖ヶ浦コース 7,208ヤード パー-72

エントリー-125名/出場者118名/欠場者7名

順位	選手名	所 属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
1	金 浩延	都 都 都	74	70	144
2	中野 正義	都 都 都	74	71	145
3	角田 充弘	東 東 東	70	76	146
3	飯塚 裕一	東 東 東	72	74	146
5	平本 文明	津 津 津	74	73	147
5	大山 和則	スプリングフィールド	75	72	147
5	阪田 哲男	袖 袖 袖	74	73	147
8	室野 多歩	東 東 東	76	72	148
8	澤田 信弘	東 東 東	75	73	148
10	金子 光規	レイ ン ボー	76	73	149
10	杉山 結	都 都 都	75	74	149
12	松田 永基	東 東 東	77	73	150
12	山下 勝紀	東 東 東	76	74	150
12	加藤 倫康	東 東 東	77	73	150
12	水上 晃男	東 東 東	76	74	150
12	金山 将	東 東 東	74	76	150
12	金田 昌富	東 東 東	75	75	150
12	衣笠 洋司	東 東 東	74	76	150
12	豊田 弘司	万 木 城	77	73	150
20	露木 実	東 東 東	78	73	151
20	田代 猛	東 東 東	77	74	151
20	有馬 昌宏	千 葉 国 際	74	77	151
23	北島 光成	ゴールデンレイクス	77	75	152
23	関沢 誠	ツインレイクス	79	73	152
23	石井 幹	千葉スプリングス	79	73	152
23	額賀 義朗	船 橋	75	77	152
27	幸崎 祐一郎	扶 桑	78	75	153
27	丹野 富寿	伊豆にらやま	79	74	153
27	水野 潤一	富士 平 産	77	76	153
27	渡辺 高男	習 志 野	76	77	153
27	松山 信彦	セ ゴ ビ ア	74	79	153
32	青山 嘉美男	横 浜	81	73	154
32	杉田 努	G M G 八 王 子	80	74	154
32	松下 宗嗣	セベ・バレステロス	77	77	154
32	永井 英輔	沼 津	75	79	154
36	原 康雄	横 浜	78	77	155
36	杉山 和久	菊 川	77	78	155
36	吉田 文雄	東 松 山	81	75	156
38	中島 廣行	東 野 野	84	72	156
38	神戸 誠	太 田 双 葉	74	82	156
38	虎見 博明	秋 山	81	75	156
38	秋山 定俊	相 模 木	79	77	156
38	若林 彰	南 富 士	77	79	156
44	加部 嗣男	東 名	80	77	157
44	宮本 清	富 士 宮	81	76	157
44	高梨 庄司	富 士 宮	80	77	157
44	松本 寛美	富 士 宮	76	81	157

以上日本ミッドアマチュアゴルフ選手権出場有資格者

44	石田 哲次郎	千 葉 新 日 本	81	76	157
44	鈴木 高廣	成田スプリングス	77	80	157
50	中川 雅義	沼 津	85	73	158
50	亀井 崇雄	寄 居	77	81	158
50	鳥山 良雄	立 川 国 際	82	76	158
50	千年 一仁	京 都	78	80	158
50	石黒 豊康	G M G 八 王 子	79	79	158
55	星野 正治	武 蔵 野	86	73	159
55	原田 晃	袖 ヶ 浦	83	76	159
55	安達 光宣	リ バ ー 富 士	80	79	159
55	小島 亘	越 前	82	77	159
55	吹野 耕一	都 厚 木	79	80	159
55	平野 洋一	大 厚 木	83	76	159
55	富田 進	藤 岡	77	82	159
62	千野 英樹	中 山	82	78	160

順位	選手名	所 属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
62	中島 正春	皇 月 ・ 佐 野	85	75	160
62	伊藤 謙二	松 本	82	78	160
62	渋谷 重氏	千 葉 国 際	81	79	160
62	白鳥 誠	セ ン ト ラ ル	82	78	160
62	日暮 俊明	扶 桑	79	81	160
62	吉田 孝市	ゴールデンレイクス	79	81	160
62	木村 哲也	千 葉	78	82	160
62	佐々木 清士	ミ オ ス 菊 川	83	77	160
71	市川 隆夫	江 戸 崎	81	80	161
71	大山 四郎	新 干 武	81	80	161
71	河野 和之	上 武	83	78	161
71	冬嶺 克宣	甲 斐 美 香	81	80	161
71	中田 辰悟	小 川	81	80	161
71	内野 忠徳	鶴 舞	79	82	161
71	山口 勝広	津 久 井 湖	80	81	161
78	公 原 一	千葉スプリングス	86	76	162
78	毛利 史郎	扶 桑	81	81	162
78	高橋 誠光	鳩 山	80	82	162
78	金子 理	緑 野	79	83	162
82	高島 吉童	スプリングフィールド	85	78	163
82	鮫島 康孝	相 模 木	84	79	163
82	篠崎 正一	泰 野	81	82	163
85	光山 富夫	横 濱	86	78	164
86	鹿島 康裕	富 士 平 産	85	80	165
86	奥村 康徳	千 葉	85	80	165
86	川上 秀男	寄 居	86	79	165
86	小野 琢司	十 日 町	85	80	165
86	玉月 勇	我 孫 子	84	81	165
86	田中 順	成 田 C C	83	82	165
86	浦野 博司	浦 和	84	81	165
93	高橋 徹	東 松 山	89	78	167
93	谷 猛夫	東 松 山	82	85	167
93	山田 勝久	セベ・バレステロス	82	85	167
96	小林 宏輔	我 孫 子	86	82	168
96	白井 洋之	東 京 国 際	83	85	168
98	望月 榮次	総 武	86	83	169
98	安藤 喜信	扶 桑	85	84	169
98	田中 耕介	浜 野	87	82	169
101	石井 孝一	千 葉 美 香	91	80	171
102	松久 佳幸	成田スプリングス	89	83	172
103	米倉 治	松 本	86	87	173
103	黒柳 哲	東 松 山	85	88	173
105	小柳 巖	東 松 山	87	91	178
棄権	渡部 富夫	ゴールデンレイクス	80		
棄権	小久江 正人	ミ オ ス 菊 川	80		
棄権	加藤 省志	立 川 国 際	81		
棄権	奥田 聖太郎	セベ・バレステロス	81		
棄権	土師 照夫	ザ ・ レイクス	82		
棄権	芳 康夫	横 濱	82		
棄権	石橋 勇治	成田スプリングス	82		
棄権	伊藤 泰樹	千 葉 新 日 本	82		
棄権	有賀 史朗	甘 藷	83		
棄権	本山 年夫	藤 ヶ 谷	83		
棄権	森田 正浩	日 立	85		
棄権	岡岡 俊裕	ラ イン ヒ ル	87		
棄権	森田 聡史	G M G 八 王 子	90		
欠場	高橋 久雄	東 松 山			
欠場	小林 慶一	メイプルポイント			
欠場	重本 勇一	セ ゴ ビ ア			
欠場	根津 訓光	茨 城			
欠場	染谷 健市	扶 桑			
欠場	山本 賢英	甲 斐 美 香			
欠場	上島 英信	ニ ッ ソ ー			

予選競技メダリスト

第1ブロック（オールドオーチャードゴルフクラブ）

杉山 結（総武） 66ストローク

第2ブロック（東松山カントリークラブ）

金 浩延（都賀） 70ストローク

第3ブロック（相模カントリー倶楽部）

佐々木清士（ミオス菊川） 67ストローク

ANAスカイホリデー

ANAで行く
日本屈指の名門ゴルフコースで爽快プレー!

旅コレクション

ANA ゴルフ

好評発売中!!

ANA

お申し込み・お問い合わせは

主催 ANAセールス&ツアーズ株式会社

国土交通大臣登録旅行業第1656号(社)日本旅行業協会正会員
〒105-7134 東京都港区東新橋1丁目5番2号 汐留シティセンター

●スカイホリデーセンター(東京)

☎03-6251-8600

営業時間 9:00~19:00
(但し、土・日・祝日は18:00まで)

平成15年度 関東ミッドシニア選手権決勝競技



心の重圧と戦う
ベテランの姿

— 枯淡の域に達した勇者とプレッシャー —

文・塩田 正(KGA広報委員)

写真・舟橋一芳(KGA広報委員)



念願の優勝を果たした菅選手

4オーバーで優勝街道を突き進んでいた菅克久(清川)の口から「あっ」という小さな叫びが漏れた。最終日、18番ホールのティショットが右の林のほうに向かって飛んでいったからだ。菅がいうには「左のバンカーだけは入れたくなかった」というのだが、第2打地点に行ってみると、菅が恐れた林の中ではなかったが、それよりも危険な状態にボールはあった。なんとボールのすぐ後ろに、まるで密着するように松の根っこが横たわっていたのだ。ショートアイアンをかぶせて打って、やっとボールと根っこの間にブレードを打

ち込めるかという状態だった。

菅はピッチングウエッジで絶妙なショットをして、20ヤード前方へボールを前進させることができた。菅はこの場面を振り返って「ひょっとすると負けるかも」と思ったそうだ。優勝を争う相手が誰で、誰がトップにいるのかもわからずに、ひたすら自分のプレーにこだわってきただけに、根っこに寄りかかるように止まっているボールを打つのに大きくミスしたら、勝ちはないものと思い込んでいたのだ。

しかし、菅は知らなかったのだが、最終ホールのティに立った時点で、先行組の最少スコアが8オーバーだったので、菅との差は4ストロークもあった。

菅は難しいライから脱出し、残り80ヤード、上りの第3打をピッチングウエッジでピンの右上2.5メートルにつけ、難しい下りで左へ切れるパットを「最悪だよ、これは」といいながら見事に沈めてボギー、2位に3ストローク差の149で上がって初の優勝に輝いた。

✿ プレッシャーをはねのけて自信

ご存じのようにミッドシニア選手権の出場資格は65歳以上。ゴルフ歴30年、40年はざらで、各倶楽部では大ベテランの域に達している選手ばかりだ。それに関東アマチュア選手権、同シニア選手権など、若い時代から競技アマチュアを続けてきた人もかなりいる。



プレッシャーの中でティショットする菅選手

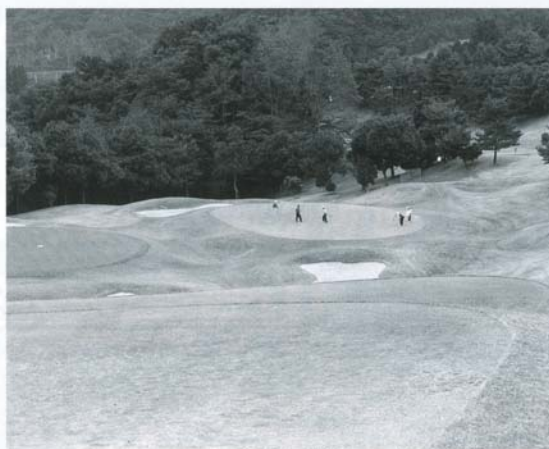
そういうベテランや競技指向プレーヤーたちからは「ミッドシニアになって、なんとなくリラックスしてプレーできる」という声が聞こえてくる。人間的にも古淡の年齢層になり、ゴルフを楽しむ余裕が出てきた証拠なのだが、しかし、やはり優勝争いの渦中にある人たちになるとそうもいかないらしい。

前記のように右の松林のほうへ大きく曲げた筈は、「左のバンカーだけは避けたい」という狙いから右を狙って攻めたのだが、スウィングの滑らかさに欠けたそのときの打ち方を見ると、やはりかなりのプレッシャーがあったのは事実だ。

「暫定球は振り切れたから狙ったところへ飛んだが、最初のティショットは、なんだか置きに行ったような打ち方だった」

と菅は18番のティショットをこう説明する。この言葉の裏には、心の重圧と闘うベテランの姿が浮かび上がってくる。

菅は16番ショートホール、17番ミドルでもティショットを失敗している。16番の打ち下ろしでは、右へ大きく逸らし、防球ネットのそばから第2打を打って、寄らず入らずのボギーを叩いたし、



打ち下ろしの16番ショートホールで各選手とも慎重なクラブ選びが目立つ

17番は「目をつむって打つしかない」ような下りのパットを入れて、パーを取ったからいいようなもの、ティショットは、いわゆるチーピンと呼ばれるミスで顔を曇らせている。菅は上り3ホールのティショットをことごとくミスしたわけである。

「私は2着選手なんです。最終組でまわる人が多いのですが、プレッシャーにやられてしまうんです。去年も最終組だったんですが、後ろから2組目の鈴木軍治さんに優勝をさらわれている…」

今回菅の上り3ホールを見ても、やや不安のあるティショットだったのだが、追い上げる他の選手の矛先が鈍く、ボギー、パー、ボギーのスコアで、3打差で勝ち上がることができたのである。

プレッシャーの洗礼を受けながらトップに這い上がった選手は強い。菅は「こじしはミッドシニア2年生、後からバリバリの強い選手が上がってくるから、いまのうちに勝っておかなければ」と試合に臨んだそうだが、見事に夢を実現。これからの菅のプレーぶりはひと皮もふた皮もむけた強い素顔を見せてくれるに違いない。



ロングヒッターぶりを発揮した中村（左）と大村の両選手

❖ カギを握った “攻撃の算数”

舞台となった相模湖CCは昭和53年に誕生した伝統のあるコース。主として松の大き木が各ホールをセパレートし、コースから人家もほとんど見えず、落ち着いた雰囲気をかもし出している。

ただ、丘陵地帯に生まれたコースだけに打ち下ろし、打ち上げというホールが多い。

あるプレーヤーはスタートを前にして「ここを攻めるポイントは、いかに足し算と引き算がうまくいくかな」と語っている。つまり前述のように打ち下ろしや打ち上げのグリーンを狙うケースが多く、前者の場合は実際の距離よりも何割か割り引いた距離で打っていかねばならないし、逆に打ち上げのグリーンを攻めるときは、そのぶんだけ割増した距離で打っていかなくてはならない。この計算がうまくいき、さらにその計算通りに打っていく技術が必要になるというわけだ。

はたして優勝の菅は、この足し算と引き算という“攻撃の算数”により点数をとることができたのか。

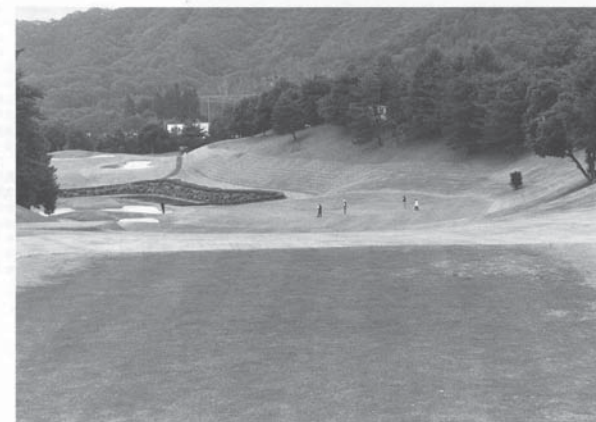
それを検証するもっとも手短かな方法は、パーオンしたホール数を調べる。最終日、菅は午前、午後のラウンドとも、パーオンをはずしたのは、3ホールずつで、6割6分のパーオン率を示している。そしてパーオンを果たしたホールは、全ホールで2パットのパーかあるいはバーディを獲得していて、逆にパーオンできなかったホールでは、6ホール中、5ホールをボギーにしている。攻撃の算数としては、80点以上のでき栄えということができそうである。つまり、上り、下りのグリーン攻撃がうまくいっての勝利ということが数字の上からもわかる。

それと観戦していて気がついたことは、70歳近くになっても、その飛びにあまり衰えが見られないことである。2位タイの中村清（水

戸）は、関東アマ、関東シニアを通じての常連だが、彼は「腰を痛めた」といいながら、最終ホール（366ヤード）では、確実に100ヤード以内に残すほどのドライバーの飛距離を見せし、大村静（リバー富士）、中野貞宜（総武）なども、17番ホール（394ヤード）で池のすぐそばまでドライバーで飛ばし、のこり120ヤード前後をショートアイアンで攻めるといって飛ばしっぷりを見せた。

関東ミッドシニアについての飛ばしの記録はないが、かつて筆者が相模カントリー倶楽部で行なわれた平成7年度関東グランドシニアで飛距離の記録をとったことがある。

そのときの記録を見ると200ヤードのボーダー・ラインを越えた人が約半数であった。200ヤードに達しない人たちがかなり目立ったのだが、いまミッドシニアで活躍している人たちが、グランドシニア（70歳以上）に達したときには、ほとんどの人が200ヤードを越えてくるのではないと思われる。クラブやボールの進歩、さらに技術面の発達で、今日の長距離ヒット時代を迎えているのだが、関東ミッドシニア選手権は、これからはさらにロング・ヒットの厳しい競争と“攻撃の算数”での得点合戦が激化するのには必至と見られる。長打と正確さのアスレチックスウィングと頭脳の結びつきが勝者の条件——この公式を見せつけられたようなことしの選手権であった。



難しい17番ホール。ティショットを打ち下ろし、第2打が池越えの打ち上げ

平成15年度 関東ミッドシニアゴルフ選手権決勝競技成績表

●開催日 平成15年10月16日(木)、17日(金) ●開催コース 相模湖カントリークラブ 桜・百合コース 6,478ヤード パー72

エントリー126名/出場者116名/欠場者10名

順位	選手名	所 属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
1	菅 克久	清 川	73	76	149
2	鈴木 重治	袖ヶ 浦	76	76	152
2	加藤 明	新 千 葉	78	74	152
2	中村 清	水 戸	74	78	152
2	関本 照文	朝霞ジャンボリー	75	77	152
6	梅澤 吉	沼田スプリングス	79	74	153
6	松岡 和成	東京よみうり	77	76	153
6	高橋 正敏	入 間	75	78	153
9	山本 利次	真 査	75	79	154
9	大村 静	リバー富士	73	81	154
9	原 貴	本 厚 木	75	79	154
9	相馬 久男	袖ヶ 浦	77	77	154
13	高橋 久雄	東 松 山	80	75	155
13	小池 政一	越 生	76	79	155
13	鈴木 勝永	大 相 模	74	81	155
13	鈴木 正治	府 名	75	80	155
13	中野 貞重	越 武	73	82	155
18	角南 道弘	中 京	78	78	156
18	釜野 康二	東 山	77	79	156
20	緒田 春夫	中 京	80	77	157
20	森田 茂	赤 城 国 際	80	77	157
22	西沢 五郎	スプリングフィールズ	80	78	158
22	星野吉之助	伊 保	75	83	158
22	幸山田 忍	武 蔵	78	80	158
以上、日本ミッドシニアゴルフ選手権出場有資格選手					
25	鈴木 健明	江 戸 崎	79	80	159
25	安藤 功	新 東 名	77	82	159
25	加倉井満郎	東 水 戸	80	79	159
29	安原 春夫	龍 崎	75	84	159
29	市川 二郎	大 相 模	83	77	160
29	本間 晴芳	大 相 模	80	80	160
29	磯谷 三好	袖ヶ 浦	81	79	160
29	小林 正義	東 京 五 日 市	79	81	160
29	飯塚 賢治	府 名	80	80	160
29	大久保幸次	日 高	79	81	160
35	内野 和夫	八 王 子	78	83	161
35	白石 芳郎	茨 城 山	83	78	161
35	高橋 佑吉	東 松 山	82	79	161
38	佐々木喜堂	大 熱 海 国 際	83	79	162
38	林 吉男	日 崎	81	81	162
38	小澤 博	習 志 野	76	86	162
41	魚見 一夫	府 名	81	82	163
41	西澤 三好	富 士 小 山	80	83	163
41	田代 雄久	小 田 原 湯 本	80	83	163
41	山中 義衛	山 崎	78	85	163
45	河合 一男	浦 手 国 際	79	85	164
45	秋山 俊	越 武	81	83	164
45	稲葉 英治	越 武	80	84	164
45	石原 勲	一 士 川 宮	80	84	164
45	市川 逸	一 士 川 宮	83	81	164
50	横川 尚三	唐 沢	80	85	165
50	大塚 洋佑	船 橋	84	81	165
50	益田 一利	戸 崎	84	81	165
50	山田 晃	大 相 模	82	83	165
50	中村 哲造	龍 崎	81	84	165
50	池田 正和	横 浜	79	86	165
50	高橋伊佐男	G M G 八 王 子	81	84	165
57	小町 章	青 梅	84	82	166
57	西巻豊三郎	高 坂	83	83	166
57	神戶 明治	袖ヶ 浦	84	82	166
57	高田 健治	袖ヶ 浦	83	83	166
57	平澤 角治	メイプルポイント	81	85	166
57	小林謙次郎	川 越	79	87	166
57	草木 芳雄	相 模 湖	86	80	166

※13位の鈴木正治選手は日本グランドシニアの有資格者でもあり日本ミッドシニアと同日開催のため、日本ミッドシニアは辞退されました。
その結果158ストローク22位の山田 忍選手が繰り上げて有資格者となりました。

■予選競技メダリスト

第1ブロック (総成カントリー倶楽部 西・東コース) 第3ブロック (総成カントリー倶楽部 南・西コース)

高橋 久雄 (東 松 山) 74ストローク 小町 章 (青 梅) 73ストローク

福田 勇 (岡部チサン) 74ストローク

第2ブロック (総成カントリー倶楽部 東・南コース)

佐々木喜堂 (大熱海国際) 71ストローク

■特別表彰

《10回出場表彰》

権守 一徳 (鶴舞)

鈴木 正治 (府中)

角南 道弘 (中山)



2位に3打差をつけて優勝した喜びの岡橋選手

岡橋、追撃をかわし
3打差で優勝

復活した日本女子アマ優勝の実力者

文・森口静彦 (KGA広報委員)

写真・塚越克一 (KGA広報委員)

関東女子ミッドアマはKGA主催の競技会の中でも関東ミッドアマと並んで最も歴史が浅く、今大会が第3回目。参加資格は30歳以上(昭和48年12月31日以前生れ)の女子アマで加盟倶楽部の会員かつJGAハンディキャップ15までの人、およびKGAが特別に承認した者となっている。ジュニア、学生は対象外。対象となる選手層は主婦として或いは社会人として最も多忙な時期と重なるため、競技参加者の確保が課題である。第1回大会のエントリーは103名、日本女子シニアと日程的にダブった第2回大会は84名と減少したが、本年度は123名と過去最高の参加者となった。

大会初日は夏を思わせるくらいに気温が上がり、この時期にしては珍しく汗ばむ陽気となった。前日の雨でグリーンは適度にしめり気を帯び、選手を暖かく歓迎してくれた。そのせいかどうか、インスタートの岡橋早里選手(オーク・ヒルズ)が69と驚異的なスコアを出してトップに躍り出た。3打差の2位は神津成美選手(下野)の72、3位は南雲真理選手(岡部チサン)の74。79までに16名の選手がひしめくという熱戦だった。

最終日、風もなく穏やかな秋日和に恵まれた。フェアウエーには赤トンボが舞っている。戦前のゴルフ雑誌に出ていた武蔵野参十の俳句「赤とん



岡橋選手の見事なティショット

ほしきりに飛んでパープレー」の情景を見るような決勝日となった。

注目は先頭を独走する岡橋選手、そしてその後を追う選手が逆転できるか、あるいはどこまで追いつくかだ。岡橋選手は、昭和56年度日本女子アマチュア選手権に出場、後にプロ転向の小田美岐、中島恵利華、宮沢晴代らを抑えて優勝した実績を持つ（当時旧姓 原）。このときは2位以下に5打差をつけてぶっちぎりの優勝だった。さて、今回はどうなるか。

フロント9を終えた段階で、岡橋選手の38、通算107に対し、南雲選手が37、通算111と追い上げ、前日2位の神津選手の39、通算111と南雲選手に並んだ。バック・ナインに入って、南雲選手はさらに追いつがりが、前日の5打差から3打差まで追ったものの、結局岡橋選手が逃げ切り通算144、2アンダーで栄冠を手にした。南雲選手はこし初めての資格を得た神津選手をかわしての2位入賞。

岡橋選手は、結婚、子育てのためゴルフを一時中断していたが、4～5年前に再開。理想とするところは「1打1打にベストを尽くし、ショットとパ

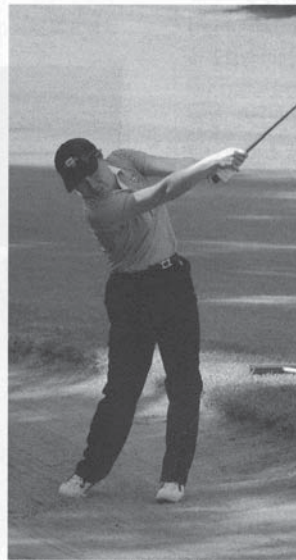
ットの組み合わせたゴルフをする」ことだという。日本女子アマチュア選手権の勝者が、関東女子ミッドアマ選手権で見事にカムバックした。



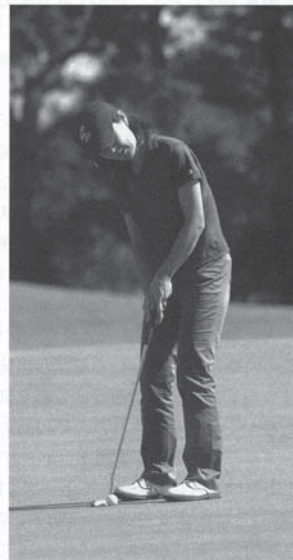
慎重にストロークする南雲選手（2位）



神津選手のフェアウェーウッド（3位）



カヤツアケミ・ナカタ選手のバンカーショット（4位）



霧木選手のバットニング（5位）

平成15年度（第3回）関東女子ミッドアマゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成15年10月23日（木）、24（金） ●開催コース 江戸崎カントリー倶楽部 東コース 6,211ヤード パー-73

エントリー123名／出場者111名／欠場者12名

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
1	岡橋 早里	オークヒルズ	69	75	144
2	南雲 真理	岡部チサン	74	73	147
3	神津 成美	下 野	72	76	148
4	カヤツアケミ・ナカタ	袖ヶ浦	75	74	149
5	霧木 直子	東名厚木	76	74	150
6	篠塚 美幸	富 里	77	74	151
7	青木 英子	千 葉	80	74	154
9	市川 慶子	江 戸 崎	80	74	154
7	佐々木祥子	妙 高	75	80	155
10	竹田百合恵	グリーンレイ	78	78	156
11	川味 千枝	愛 鷹	79	78	157
11	林 恵子	総 武	76	81	157
13	山本美恵子	新 千 葉	79	79	158
13	松山奈津江	鹿沼 7 2	77	81	158
15	後藤 弥生	京	78	81	159
16	津堅 典子	カバヤ	80	80	160
16	矢島智都子	霞ヶ関	81	79	160
16	関根崇穂美	セントラル	78	82	160
19	松本 京子	鳩 山	81	80	161
19	小島美智子	新 千 葉	78	83	161
19	江原 千秋	ノースショア	83	78	161
22	増田 京子	筑 波	86	76	162
22	秋谷 美樹	習 志 野	82	80	162
22	加藤 理刈	伊豆 大 仁	79	83	162
22	渡辺 良子	東名厚木	81	81	162
26	金 沙織	都 賀	82	81	163
26	新井スリ子	杉ノ郷	82	81	163
28	伊藤 結花	ザ・レイクス	82	82	164
28	木村美佐子	レインヒルズ	81	83	164
28	高村 和美	東名厚木	82	82	164
31	川口文恵	泰 野	82	83	165
31	目崎美枝子	江 戸 崎	83	82	165
33	小坂 順子	京	85	81	166
33	伊東 法子	皇月・佐野	84	82	166
33	楠 達子	船 橋	84	82	166
33	原 慧子	児玉スプリングス	82	84	166
37	浅川 洋子	高 坂	83	84	167
37	森本加奈子	玉 造	81	86	167
37	岩本 昌美	富士御殿場	80	87	167
37	長瀬 万寿	東 京	80	87	167
41	吉崎 範子	東名厚木	81	87	168
41	金子 弥生	東名厚木	84	84	168
41	神宮寺典子	東 松 苑	84	84	168
44	吉田 薫	鶴 舞	91	78	169
44	大原真理子	東京湾スプリングス	85	84	169
44	上條 淑子	松 本	82	87	169
47	安彦真佐子	東京五都市	87	83	170
47	松宮 由季	新 千 葉	86	84	170
47	山田真理子	鶴 舞	82	88	170
47	小岩由加里	大和根チサン	85	85	170
47	高野 順子	南 摩 城	84	86	170
52	陳 公美	中 山	89	82	171
52	山下かつみ	中央道鶴ヶ峰	89	82	171
52	宮澤 貞子	新 千 葉	88	83	171
52	佐久間みち	習 志 野	86	85	171
56	小島とみ子	マイブルポイント	88	84	172
56	田子真里子	大 平 台	89	83	172
56	服部 みつ	伊豆 大 仁	85	87	172
56	外山 優子	秋 山	88	84	172
56	物井 沙里	ロックヒル	83	89	172
61	見津 佳子	鷹	91	82	173
61	倉片 史	ザ・レイクス	87	86	173

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
61	浜田 由香	高 根	86	87	173
61	山内 佳子	太平・ヒルズ	86	87	173
65	西野 経子	ミオス菊川	88	86	174
65	鯉沼 良美	東 松 苑	87	87	174
67	松沢 江美	栃木ヶ丘	87	88	175
67	伊達 祥子	東 松 苑	91	84	175
67	篠股美恵子	上総富士	88	87	175
67	高岩 裕子	鷹彦スリー	91	84	175
67	山崎 久美	習 志 野	82	93	175
67	馬込奈緒子	セバリスデビス	86	89	175
67	齋 綾	鶴 舞	87	88	175
67	高崎 啓子	浦 和	85	90	175
67	池田 律子	東 千 葉	86	89	175
67	田中 弓子	日 光	85	90	175
77	相田ひろみ	浦 和	88	88	176
77	牛窪 節子	常 陽	91	85	176
77	橋本 智代	児玉スプリングス	84	92	176
77	安達 真弓	鹿沼 7 2	90	86	176
81	大山 孝子	オリムピック	87	90	177
81	福原 伸子	ザ・レイクス	88	89	177
83	山本 節子	玉 造	89	89	178
83	藤井恵利子	富士御殿場	89	89	178
83	徳本知恵美	新 千 葉	86	92	178
83	渡邊かおり	鶴 舞	85	93	178
83	小川 幸子	寄 居	89	89	178
88	藤本 マサ	セントラル	88	91	179
88	濱野貴美枝	セゴビア	88	91	179
90	柳原まり子	成 田 C C	87	93	180
90	古川美知子	東 千 葉	91	89	180
90	柴本 尚美	日 高	87	93	180
90	横川亜希子	扶 桑	85	95	180
94	小俣 静江	東京五都市	91	90	181
94	柴田 章江	浦 和	92	89	181
94	宮澤由紀子	秋 山	84	97	181
97	森 晶子	扶 桑	92	90	182
97	宝田 朝子	皇月・佐野	92	90	182
99	北原アヤ子	玉 造	89	94	183
99	松戸 玲子	穴戸ヒルズ	90	93	183
101	永瀬美代子	武 蔵	92	92	184
102	安部 芳子	東名厚木	94	91	185
102	渡辺 ミチ	鶴 舞	91	94	185
104	川島みち子	平塚富士見	90	97	187
104	白樹 榮	大 利 根	92	95	187
104	岡田 栄子	玉 造	96	91	187
107	長谷川美子	鶴 舞	95	93	188
107	井上 道子	あさひヶ丘	92	96	188
109	大隅萬里子	横 浜	98	100	198
失格	佐久間祐子	泰 野	86		
棄権	的場登世子	芳 賀	92		
欠場	齊藤 好美	伊豆にちやま			
欠場	今井 啓子	白 鳳			
欠場	菊島 千春	葉山国際			
欠場	渡辺 恵子	高 根			
欠場	関下 美嘉	東名厚木			
欠場	澁谷 知里	フォレスト			
欠場	高橋 依巳	GMG八王子			
欠場	藤城 康子	下 野			
欠場	勝又 紀子	横 浜			
欠場	野瀬菜穂子	高 根			
欠場	矢作美代子	習 志 野			
欠場	山崎 睦子	皇月・佐野			



優勝した河本選手

河本、混戦を制して念願の優勝

初冠雪の富士の裾野に激戦を展開

文・森口 静彦 (KGA広報委員)
写真・増田 収 (KGA広報委員)



今年度の関東シニア予選競技は7月14日、高麗川カントリークラブ（第1ブロック）及び7月17日、佐倉カントリー倶楽部（第2ブロック）、東宇都宮カントリークラブ（第3ブロック）、諏訪湖カントリークラブ（第4ブロック）の4会場に別れて開催された。参加者517名、内140名が予選を突破して決勝に進出。参加資格は55歳以上（昭和23年生まれまで）。今年度新規に参加資格を得て決勝に初出場する選手は21名。奇しくも前年と同数だ。プラスハンディ2名、スクラッチ4名、ハンディ1〜3が10名という強力新人が決勝に進んだ。

「新人は勝てない」が関東シニアのジンクス。前年は藤崎和典選手（富士笠間）がジンクスを破って優勝した。今年も新人がやるか？ 予選通過140名にシード選手（前年度5位タイまで）藤崎和典（富士笠間）、石井幹（千葉スプリングス）、松尾淳一郎（藤ヶ谷）、佐藤伊佐緒（磯子）、関本照文（朝霧ジャンボリー）計5名の各選手が加わって145名でカップ争奪戦が行われるのが、今回の関東シニアだ。

スタート時間の明暗

関東シニアの創始は昭和29年（1954年）。今年で第50回の節目を迎える長い歴史を誇る競技である。開催コースの富士小山ゴルフクラブは昭和39年3月、関東ゴルフ連盟に加盟しているが連盟主催の決勝競技を開催するのは第33回関東オープン（昭和57年9月）以来今回が2度目。会場について紹介しよう。

初ゴルフ

富士に向かって打ち込んだり 久米正雄

あるようでないのが富士をよみこんだゴルフ俳句であり、苦勞して探したのがこの一句。季節が合わないところはご勘弁願うとして、富士に向かって打ち込む一打はまさにゴルフの醍醐味だ。野鳥の三大楽園と言われる霊峰富士の東麓、海拔600㍎の高原に広がる美しいコース。開場は昭和37年4月、樹木も成長し風格を備えている。昭和32年我が国初の国際ゴルフ競技であるカナダカップ（現ワールド・カップ）で優勝し、一躍国民的英雄となった中村寅吉氏の設計だ。富士に向かって打つ、あるいは富士を背景に打つ。いずれも素晴らしいゴルフ風景だ。

午前中は曇り、午後になって小雨が降り出した。標高600㍎の高原は雨でも、3000㍎を越える富士山頂部は雪だ。初冠雪で化粧した霊峰富士が見下ろすコースでのプレーとなった。スタート時間が遅くなるにつれ気温も下がり、グリーンも難しくなる。初日の成績：パープレーは宇賀神佐英（大洗）アウト8：08スタート、木島侑二（房総）



逆転優勝でカップを受ける河本選手。右は普勝KGA副理事長

同9：36スタートの二人。+1は江沢健夫（習志野）イン8：32スタート。+2は山本秋夫（大厚木）イン8：16スタート、河本徳三朗（相模原）アウト8：40スタート、寺村義美（スプリングフィルズ）イン8：40スタート、石井幹（千葉スプリングス）イン9：20スタートと比較的早いスタートの選手がよい成績を記録した。一方、最終組（イン10：18スタート）の前年チャンピオン藤崎選手と前年4位タイの関本選手（アウト10：18スタート）はそれぞれ+7と+6と出遅れた。雨降りの時間帯による運、不運もゴルフには付き物だ。初日の結果はパープレーから3打差の中に15名の選手がひしめく大混戦となった。

通算パープレーの河本選手が逆転優勝

最終日は薄曇り。時折雪の帽子を被った富士が雲間に顔を見せて試合の模様を見物する。気温も前日に比べると2度高く、高原の秋のゴルフとしては申し分のない天気となった。朝の競技委員会で松本委員長から「本日はおそらく接戦になり、プレーオフの可能性もある」との発言があり、各委員にプレーを迅速にするように注意があった。

フロントナインを終わった段階で初日パープレーの宇賀神、木島両選手が共に40を叩いて112。一方、初日+2の河本選手が35を出して109と逆転した。その結果、109から112の3ストローク差の中に8名の選手が入る接戦、いよいよプレーオフの可能性が強くなった。しかも数名による決定戦の可能性すらうかがわせる展開だ。

最終組の一つ前、河本選手を15番ホールからウォッチングを開始した。14番パー4でバーディを取り、これで2アンダーとしたばかりだ。15番ホールは522ヤード、パー5。3オン、2パット。16番ホールは177ヤード、パー3。富士を背負って打ちおろす絵のように美しいホールだ。5Iで見事1オン、2パット。17番ホール345ヤード、パー4は1Wのティショットの後、残り80ヤードをピンにデッドに絡ませてバーディ。これでこの日3アンダー、優勝を意識したようだ。最終ホール418ヤード、



安定したショットを放つ寺村選手（左）と石井選手

パー4は安全策で3Iのティショット。打ち上げの2打目も無理をせずグリーン手前約40ヤードにレイアップ。3打目がピンを12〜3㍎オーバーしてカラーにとまった。長尺パターで10センチに寄せて初のボギー。結局3バーディ1ボギーの70で上がり、通算パープレー。最終組にアンダーパーをマークする選手がおらず河本選手に栄冠が輝いた。

初資格の昨年、1打足りず予選敗退の寺村選手は苦い経験をバネに、今年は見事2位の座を勝ち取った。昨年2位の石井選手は一步後退の3位となった。

優勝した河本選手は「徳さん」と呼ばれ、今年が還暦。関東シニアには、資格ができた平成10年に初出場して12位タイ。その年の第20回日本シニア（岐阜県）では1打差で2位タイとなっている。以来毎年、関東シニアの決勝に顔を出すベテラン。昨年は51位タイと振るわなかった。ところが、今年は今までと違って自分のゴルフが出来たと言う。力むことなく、いつもよりドライバーが10〜15ヤードのびた。各選手がグリーンで崩れたのに対して、パットのラインもよく読めたそう。決勝初日、スタートが早い組だったことも幸いした。ゴルフはいろいろな要素が重なってスコアをメイクする。従来、上位には行くが、優勝の二文字と縁がなかった。今回初めて大混戦を制してカップを手にした。「30年間、ゴルフをしてきた甲斐があった」と喜びを隠せない。椎間板ヘルニアに悩みながらもシニアの夢を実現した河本選手の今後の活躍をさらに期待したい。

平成15年度(第50回)関東シニアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成15年10月6日(月)、7日(火) ●開催コース 富士小山ゴルフクラブ 6,712ヤード パー-72

エントリー145名/出場者133名/欠場者12名

順位	選手名	所 属	1111	1212	合計
1	河本徳三朗	相模原	74	70	144
2	寺村 義美	スプリングフィズ	74	73	147
3	石井 幹	千葉スプリングス	74	74	148
4	山本 秋夫	大 厚	74	75	149
5	江沢 健夫	大 厚	73	77	150
6	山田 勲	東 千	80	71	151
6	中村 清	水 戸	75	76	151
8	藤崎 和典	土 井	79	73	152
8	中野 正人	大 相	78	74	152
8	宇賀神佐英	大 相	72	80	152
11	小久保武夫	大 相	77	76	153
11	白井 敏夫	大 相	75	78	153
11	平沢 良雄	水 戸	76	77	153
14	関口 幸雄	芳 野	77	77	154
14	川野 和正	ケ	80	74	154
14	奥野 謙	ケ	80	74	154
14	木島 信二	房 野	72	82	154
18	富田 文雄	茨 城	77	78	155
18	大山 四郎	新 千	81	74	155
18	伊藤 佐一	新 千	78	77	155
18	杉田 敏三	多 摩	76	79	155
18	山口 現朗	武 蔵	76	79	155
18	乃山 秀新	相 模	77	78	155
18	渋谷 達氏	業 界	74	81	155
18	渡辺 史郎	相 模	76	79	155
26	横山 佳和	東 京	80	76	156
26	佐藤伊佐緒	磯 下	80	76	156
26	藤城 悠	下 立	79	77	156
26	田中 重造	日 立	81	75	156
26	佐々木誠	川 国	76	80	156
26	高橋 隆男	業 界	79	77	156
26	石井 孝一	業 界	76	80	156
26	石田 俊男	扶 桑	77	79	156
26	中島 廣行	扶 桑	79	77	156
26	生田 憲一	大 利	75	81	156
26	松尾淳一郎	大 利	76	80	156
26	板橋 理	東 松	74	82	156
38	原 徳男	湯 河	80	77	157
38	高橋 功	高 野	77	80	157
38	小原久仁規	高 野	80	77	157
38	斉藤 征修	南 摩	74	83	157
38	島山 良雄	立 川	77	80	157
43	高橋 久雄	東 松	79	79	158
43	柳田 賢治	筑 波	81	77	158
43	石井 重次	メイプルポイント	85	73	158
43	関本 照文	朝霞ジャンボリー	78	80	158
43	橋本 進一	千葉スプリングス	80	78	158

以上日本シニアゴルフ選手権出場資格者

43	永井 明	大 利	79	79	158
43	渡辺 雄男	太平洋・ヒルレスト	78	80	158
43	北原 富雄	東 松	75	83	158
51	中野 弘治	相 模	78	81	159
51	藤崎 正典	ゴールデンレイクス	82	77	159
51	伊藤 仁	相 模	80	79	159
51	金田 昌富	筑 波	81	78	159
51	佐久間紀明	栃 木	82	77	159
51	藤家 哲夫	栃 木	80	79	159
57	米山 福吉	東 名	80	80	160
57	遠藤 修	岡 部	83	77	160
57	梅田 佳弘	人 間	78	82	160
57	河野 美	府 国	79	81	160
57	渡辺 秀男	武 蔵	76	84	160
57	岡田 光正	嵐 山	80	80	160
57	坂本 章二	東 松	78	82	160
57	足立 節雄	富 士	80	80	160
57	岡崎 光伸	新 千	78	82	160
57	加藤 明	新 千	79	81	160
57	成田ハイツリ	成田ハイツリ	76	84	160
57	関橋洋之助	飯 沼	83	78	161
68	佐々木 善夫	スプリングフィズ	79	82	161
68	星野 正治	武 蔵	79	82	161
68	石原 勲	富 士	80	81	161
68	平戸 進二	大 厚	80	81	161

■予選競技メダリスト

第1ブロック	遠藤 修 (岡 部 チサン)	71ストローク
第2ブロック	大西 憲彦 (成田ハイツリ)	72ストローク
第3ブロック	寺村 義美 (スプリングフィズ)	70ストローク
第4ブロック	石井 重次 (メイプルポイント)	70ストローク

順位	選手名	所 属	1111	1212	合計
68	指田 博	多 摩	79	82	161
68	榎原 久義	甲 府	77	84	161
68	秋保 一孝	東 松	81	80	161
68	渡辺 宣彦	千葉スプリングス	75	86	161
77	滝 正元	東京五 市	78	84	162
77	寺田 清一	扶 桑	81	81	162
77	木村 芳雄	扶 桑	83	79	162
77	竹村 龍雄	嵐 山	81	81	162
77	今井 一男	鴻 巣	79	83	162
82	岡田 恵司	浦 和	77	86	163
82	根本 太海	水 戸	81	82	163
82	村岡 雄	ファイブエイト	83	80	163
85	増岡 守哉	鹿 沼	87	77	164
85	榎本 博	金 砂	87	77	164
85	栗玉 善文	岡 部	81	83	164
85	山西 安昭	富 士	79	85	164
85	望月 清	富 士	81	83	164
85	新谷 一充	スプリングフィズ	82	82	164
91	徳永 満	龍 崎	85	80	165
91	平井 英宏	武 蔵	88	77	165
91	須崎 昭平	武 蔵	83	82	165
94	高田 孝夫	南 摩	86	80	166
94	金丸 保	寄 木	81	85	166
94	宮澤 佐文	龍 崎	84	82	166
94	中見 憲政	成田ハイツリ	80	86	166
94	村山 正光	嵐 山	81	85	166
94	安井 勲	千葉スプリングス	85	81	166
100	藤田 幹雄	千 葉	87	80	167
100	安島 大三	水 戸	82	85	167
100	稲谷 俊一	鹿 沼	83	84	167
103	山田 義雄	太平洋・ヒルレスト	85	83	168
103	麻原 博孝	小 田	83	85	168
103	尾崎 達朗	鴻 巣	85	83	168
103	鈴木 英介	武 蔵	82	86	168
107	望月 榮次	武 蔵	90	79	169
108	落合 裕一	紫 雲	86	84	170
108	高橋 佑吉	東 松	89	81	170
108	寺田 善夫	大 利	86	84	170
108	金谷 善吉	大 熱	86	84	170
108	川口 三夫	小 田	83	87	170
113	荻島 富雄	武 蔵	88	83	171
113	菅 真知	武 蔵	85	86	171
115	帖佐 寛巳	伊 勢	88	84	172
115	真下 健弥	龍 崎	83	89	172
115	大武 正	習 志	86	86	172
115	小澤 達	メイ・レイクヒルズ	85	87	172
119	川崎 豊	千 葉	92	81	173
120	関 一豊	千 葉	86	88	174
121	馬淵 博臣	麻 生	86	89	175
121	山本 順平	立 川	85	90	175
123	大西 憲彦	川 国	89	89	178
123	板井 真一	高 松	87	91	178
125	増田 龍彦	加 賀	94	87	181
125	岩崎 伝造	鳩 山	93	88	181
127	豊岡 保	月 野	85	97	182
127	浅井 和彦	伊 勢	76		
127	渡邊 敏	横 濱	84		
127	佐藤 鉄男	業 界	88		
127	松澤 清之	伊 勢	88		
127	鈴木 正治	武 蔵	90		
127	久田 勇男	武 蔵	90		
127	岩下 良雄	川 国			
127	阿久津正一	松 崎			
127	堀内 勝正	千 葉			
127	竹岡 和彦	カレドニア			
127	本山 年夫	藤 日			
127	今井 和弘	日 光			
127	矢野 謙夫	佐 千			
127	伊東 祐次	甲 府			
127	島村 隆男	戸 妻			
127	内田 孝	成田スプリングス			
127	深谷 寛貴	龍 崎			

■特別表彰

《10回出場表彰》 川口 三夫 (小田原・松 田)

第58回国民体育大会 関東ブロック大会ゴルフ競技

ローカル色豊かな、爽やかミニ国体

●開催日 平成15年7月29日(火)
●開催コース 水海道ゴルフクラブ6,315ヤード パー-72

文・森口静彦 (KGA広報委員)

去る7月29日、第58回国民体育大会 関東ブロック大会ゴルフ競技が水海道ゴルフクラブにおいて開催された。本競技会は、1都7県の成・少年女子の「NEW!! わかふじ国体」(開催地：静岡)への出場権をかけた選考会を兼ねており、関東ゴルフ連盟は、茨城県アマチュアゴルフ連盟からの要請に基づき、同競技の競技委員長(松本富夫 KGA競技委員長)並びに副委員長(田中克幸 KGA同副委員長)を派遣して、競技の進行に協力することとなった。

初めての正式要請に基づく役員派遣

関東ゴルフ連盟から、各都県団体主催の競技に競技役員を派遣した例は過去にも何回もある。しかし、正式要請に基づく派遣でなく、競技委員としての本来の機能を発揮できなかったり、対応に戸惑うこともなかった訳ではない。一方、各都県アマチュアゴルフ団体主催の競技に於けるルールの不徹底が指摘されていることも事実である。

今回、茨城県側の正式要請に基き、競技委員長並びに競技副委員長として役員を派遣することにより、円滑な競技開催が実現できたことは誠によろこばしく、今後のKGAからの役員派遣の在り方並びに各都県アマチュアゴルフ団体との協力関係の進め方についてのよりよい方向づけが示された大会であったと言える。

まず、松本富夫競技委員長と、田中克幸競技副委員長が事前の打合わせ及び競技委員会のため2度にわたって現地に赴き、コースを綿密に視察して、コースセッティング、ホールロケーション、ローカルルールのチェック、トラブルの発生が懸

念される場所のチェックとその対策、その他売店、食堂に於けるアルコール類の販売自粛等について、本大会を主管する茨城県アマチュアゴルフ連盟の関係者、開催倶楽部側と打合わせを行ってきた。

ところが、大会当日、事前の打合わせにもかかわらず、売店、食堂においてビールが販売されておりこれに気付いた田中副委員長が関係者にアピール、直ちにアイスボックスから缶ビールを取除き、或いは食堂のメニューからビールを除外してもらった。「スポーツの祭典」として「健康の増進と体力の向上」をはかる国体ブロック代表選考の場にアルコールは不要であるし、ふさわしくない。まして、大きな社会問題である飲酒運転の原因にもなり兼ねない種を放置することは容認できない。アルコール類の販売自粛は今後とも徹底すべきである。

前日夕方開催された監督会議において、松本競技委員長並びに田中副委員長より、ローカルルールの「予備グリーンへのプレー禁止」にはカラーを含めないこと、監督のアドバイスはグリーンについては認めないこと、セルフでプレーする少年女子については誘導員を必要箇所に配置すること等について説明し、その後質疑応答を通じて徹底をはかった。

早朝の競技委員会開催により万全を期す

大会当日、松本競技委員長より、競技委員の招集を要請した。午前7時30分から約30分、ハウス2階会議室において、競技委員会を開催、前夜監督会議にて確認した諸事項を伝達するほか、トラブル発生時の対応、トランシーバーの使用方法、紛失球、OBになりやすい場所の注意、フォアキャディの使用する青・赤・白三色の手旗の説明、また選手たちへの伝達方法、その



後藤会長より通過認定書を受ける選手代表

他、少年女子がバッグが重くてつらいだろうからとバッグを持ってやる
とか、グリーン上で旗竿を代わりに
持つとか、特定の選手に声をかける
とか、競技委員として注意すべき事
項等々微に入り細にわたって説明、
また競技委員の役割分担の確認が行
われ、円滑かつ公正な競技進行のた
めの対応に万全が期された。



会場には各都県の旗が

午前8時20分から開会式。行進曲の放送に合
わせて選手入場。遠藤水海道市長、後藤競技会長の
挨拶に続いて、松本競技委員長が「郷土のため、
思う存分たたかうと共にゴルフのルール、マナー、
エチケットを重んじ、また同伴競技者に対する
心くばりを忘れずに、一日、頑張ってください」
と選手たちを激励された。選手宣誓は、地元茨城
県少年女子の藤木歌織選手。「日頃の練習の成果
を発揮、正々堂々とプレーし、全力を尽くすこと
を誓います」と若々しくきびきびとした声が会場
にこだました。

問題点は5時間を越えるプレー時間

クラブハウス中庭には出場各都県の旗が掲揚さ
れ、ミニ国体の雰囲気を感じている。スタートは
9時30分きっかり、松本競技委員長の挙手を合図
に、アウトから少年女子（昭和60年4月2日以降生
れ。但し、中学生以下の生徒・児童は不可：4名×6
組 24名）、インからは成年女子（昭和60年4月1
日以前生れ：4名×6組 24名）が一斉にティオフ、大
会の幕が切って落とされた。少年女子はセルフバ
ッグ、成年女子には郷土色豊かな潮来の娘船頭さ
んの編笠をかぶったハウスキャディがついて18ホ
ールのスループレーの競技である。

スタート時には薄曇りだったものの、11時半ご
ろから午後2時半ごろにかけて小雨模様となり、プ
レーの進行にも影響し、1ホールあいてしまう組
もでてきた。少年女子の最終組（10時10分スター
ト）が18番ホールをホールアウトしたのは、午後
3時15分（5時間5分）。関東ブロックを代表して全
国大会に進出する選手たちのプレーが1ラウンド5
時間を超過するのは問題である。プレー時間短縮

のために、グリーン上での監督の
アドバイスを禁止する措置をとっ
たにも拘らず、5時間超もかかっ
た。もし、禁止措置がなければど
うなっていたのだろうか。各チ
ームの監督たちには単にスコアメイ
クのみならず、プレーのスピード
アップについても指導することが
望まれた。

すべての選手がスコアカードを提出、集計が完
了した時点で、田中副委員長がすべてのスコアカ
ードをチェックし、集計並びに順位に間違いがな
いことを確認。松本競技委員長が集計表に承認の
署名をされた。

午後4時10分から1階ラウンジにおいて閉会式が
挙行された。松本競技委員長から、成績発表。1
位から5位までのチーム代表（少年女子：東京、神
奈川、埼玉、群馬、栃木。成年女子：埼玉、山梨、栃
木、茨城、神奈川）に対し、後藤会長より、第58
回静岡国体に出場する資格を得たことを証明する
「通過認定書」が授与された。

最後に、次期開催地神奈川県を代表して長野和
郎氏（神奈川県ゴルフ協会副会長）より「来年は箱
根カントリー倶楽部で開催する予定であり、夏の
箱根で元気にお会いすることを楽しみにしており
ます」と歓迎の挨拶があって、大会は無事閉幕し
た。

関東ゴルフ連盟の活動の歴史に新しい1ページ

本大会の運営主管は茨城県アマチュアゴルフ連
盟であり、関東ゴルフ連盟としては、主としてル
ール面から競技が公正に実施されるよう協力・支
援する立場であったが、地元関係者との事前の綿
密な打合わせ、また大会中の臨機応変な対応によ
って、トラブルの発生もなく大会を成功裡に導く
ことができた。関東ゴルフ連盟が主催する競技以
外に競技役員を派遣することは、前記の通り今回
が最初ではないが、各都県アマチュアゴルフ団体
の国体競技の正式要請に基づく派遣は初めてのこ
とであり、関東ゴルフ連盟の活動の歴史に新たな
1ページを加える意義ある大会となった。

New

新規加盟倶楽部紹介

カナリヤガーデンカントリークラブ



1. 倶楽部名 カナリヤガーデンカントリークラブ
住 所 〒292-0511
千葉県君津市大坂1228-1
電 話 0439-29-3900
F A X 0439-29-3901
2. 開場年月日 平成14年9月1日
3. 理事長 木庭 清 (S.17.11.13)
倶楽部代表者 木庭 清
4. 倶楽部分科委員長 選任中
5. 支配人 支配人制度をとっていない。
木庭大輔（取締役事務局長）(S.45.12.23)
6. 倶楽部概要

当倶楽部は昨年の9月にカナリヤガーデンカン
トリークラブとしてグランドオープンいたしま
した。独創的なゴルフ場を目指し、今までにな

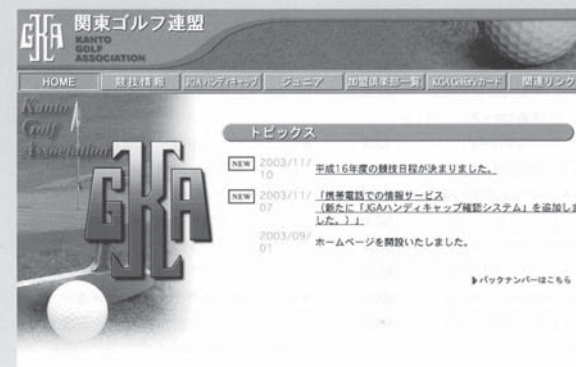
い様々な試みを行なっています。支配人制の廃
止による新組織の結成や最終のスタート時間制
限はなくし、5箇所あるティーフランドどこから
でもプレー可能にするなどお客様本位の経営ス
タイルへ転換している最中です。

コースは雄大な自然の恵みに抱かれた君津丘
陵地にゴルフの理想的なステージを追求した本
格派のゴルフコースになっております。18ホ
ールで全長7,100ヤードと距離は長く、特に5番ホ
ールのS字のロングホールは難易度が高くゴルフ
ーとしての腕・戦略性を試される絶好のホール
となっております。また名物ホールとなってい
るアイランドグリーンの14番ホールなど、ゴル
フの醍醐味・楽しさを十分に味わえるコース設
計です。

現在、会員数は1,015名と比較的少ない会員数
で成り立っています。来年ぐらいいは新規募集
も予定しております。東京・神奈川方面からの
アクセスはアクアライン経由で今年4月にオーブ
ンした君津インターで降りると、わずか15分程
でお越しいただけます。今後、会員と従業員が
一体となり地域No.1のゴルフ場を目指し、更なる
努力をして参ります。

関東ゴルフ連盟では
このたび
ホームページを
開設いたしました。

http://
www.kga.gr.jp



分科委員会

平成15年度 第4回 コース・レート委員会議事録

日時 平成15年10月21日(火) 正午
場所 KGA会議室
出席者 大原委員長
岡田・松岡両副委員長
大久保、王月、萩島、金子、
阪田、白井、杉山、寺村、平
本、前川、森各委員

— 討議及び決議事項 —

① 査定数値決定について

多摩カントリークラブ以下14倶楽部の
コース・レートを以下のように決
定した。

15年再査定倶楽部

●多摩カントリークラブ

「バック・ティ」「Aグリーン」	71.2
「レギュラー・ティ」「Aグリーン」	69.6
「フロント1・ティ」「Aグリーン」	68.6
「バック・ティ」「Bグリーン」	70.2
「レギュラー・ティ」「Bグリーン」	68.8
「フロント1・ティ」「Bグリーン」	67.9

●かずさカントリークラブ

さくら・富士コース	
「バック・ティ」「Aグリーン」	71.9
「レギュラー・ティ」「Aグリーン」	69.8
「フロント1・ティ」「Aグリーン」	68.7
「フロント2・ティ」「Aグリーン」	66.9
「バック・ティ」「Bグリーン」	70.7
「レギュラー・ティ」「Bグリーン」	68.8
「フロント1・ティ」「Bグリーン」	67.7
「フロント2・ティ」「Bグリーン」	66.5
富士・つばめコース	
「バック・ティ」「Aグリーン」	72.0
「レギュラー・ティ」「Aグリーン」	70.3
「フロント1・ティ」「Aグリーン」	69.1
「フロント2・ティ」「Aグリーン」	67.4
「バック・ティ」「Bグリーン」	70.8
「レギュラー・ティ」「Bグリーン」	69.2
「フロント1・ティ」「Bグリーン」	68.0
「フロント2・ティ」「Bグリーン」	66.8
つばめ・さくらコース	
「バック・ティ」「Aグリーン」	72.2
「レギュラー・ティ」「Aグリーン」	70.0
「フロント1・ティ」「Aグリーン」	69.0

「フロント2・ティ」「Aグリーン」	66.9
「バック・ティ」「Bグリーン」	71.2
「レギュラー・ティ」「Bグリーン」	69.3
「フロント1・ティ」「Bグリーン」	68.3
「フロント2・ティ」「Bグリーン」	66.3

●フォレストゴルフクラブ 東コース

「バック・ティ」「メイングリーン」	72.4
「レギュラー・ティ」「メイングリーン」	70.0
「フロント1・ティ」「メイングリーン」	68.0
「フロント2・ティ」「メイングリーン」	67.0
「バック・ティ」「サブグリーン」	71.3
「レギュラー・ティ」「サブグリーン」	69.2
「フロント1・ティ」「サブグリーン」	67.1
「フロント2・ティ」「サブグリーン」	66.2

●新津カントリークラブ

「バック・ティ」「メイングリーン」	71.5
「レギュラー・ティ」「メイングリーン」	69.9
「フロント1・ティ」「メイングリーン」	68.4
「フロント2・ティ」「メイングリーン」	66.6

新規及び改造査定

●オリムピック・スタッフ足利ゴルフ

コース	
「バック・ティ」「ベントグリーン」	73.0
「レギュラー・ティ」「ベントグリーン」	71.1
「フロント1・ティ」「ベントグリーン」	69.7
「フロント2・ティ」「ベントグリーン」	65.4

●カナリヤガーデンカントリークラブ

「バック・ティ」「ベントグリーン」	73.0
「レギュラー・ティ」「ベントグリーン」	71.0
「フロント1・ティ」「ベントグリーン」	69.4
「フロント2・ティ」「ベントグリーン」	66.2

●柏崎黒姫カントリー倶楽部

「バック・ティ」「ベントグリーン」	72.7
「レギュラー・ティ」「ベントグリーン」	70.6
「フロント1・ティ」「ベントグリーン」	69.1
「フロント2・ティ」「ベントグリーン」	67.3

●篠ノ井ゴルフパーク：ウィーゴ

「バック・ティ」「ベントグリーン」	71.3
「レギュラー・ティ」「ベントグリーン」	69.6
「フロント1・ティ」「ベントグリーン」	68.2
「フロント2・ティ」「ベントグリーン」	67.3

●武蔵カントリークラブ

笹井コース	
「バック・ティ」「Aグリーン」	73.3
「レギュラー・ティ」「Aグリーン」	71.9
「フロント1・ティ」「Aグリーン」	70.1
「バック・ティ」「Bグリーン」	71.6
「レギュラー・ティ」「Bグリーン」	70.2
「フロント1・ティ」「Bグリーン」	68.9
豊岡コース	
「バック・ティ」「Aグリーン」	72.1
「レギュラー・ティ」「Aグリーン」	70.4
「フロント1・ティ」「Aグリーン」	69.5
「バック・ティ」「Bグリーン」	72.0
「レギュラー・ティ」「Bグリーン」	70.3
「フロント1・ティ」「Bグリーン」	69.4

●東名カントリークラブ

愛鷹・裾野コース	
「バック・ティ」「Aグリーン」	70.4
「レギュラー・ティ」「Aグリーン」	68.5
「フロント1・ティ」「Aグリーン」	67.0
「バック・ティ」「Bグリーン」	71.8
「レギュラー・ティ」「Bグリーン」	69.6
「フロント1・ティ」「Bグリーン」	68.0
裾野・桃園コース	
「バック・ティ」「Aグリーン」	69.7
「レギュラー・ティ」「Aグリーン」	67.7
「フロント1・ティ」「Aグリーン」	66.4
「バック・ティ」「Bグリーン」	70.4
「レギュラー・ティ」「Bグリーン」	68.4
「フロント1・ティ」「Bグリーン」	66.9

●桃園・愛鷹コース

「バック・ティ」「Aグリーン」	69.8
「レギュラー・ティ」「Aグリーン」	67.9
「フロント1・ティ」「Aグリーン」	66.6
「バック・ティ」「Bグリーン」	70.7
「レギュラー・ティ」「Bグリーン」	68.7
「フロント1・ティ」「Bグリーン」	67.4

女子コースレート机上査定倶楽部

●多摩カントリークラブ

「バック・ティ」「Aグリーン」	76.4
「レギュラー・ティ」「Aグリーン」	74.5
「フロント1・ティ」「Aグリーン」	73.1
「バック・ティ」「Bグリーン」	75.3
「レギュラー・ティ」「Bグリーン」	73.4
「フロント1・ティ」「Bグリーン」	72.0

●かずさカントリークラブ

さくら・富士コース	
「バック・ティ」「Aグリーン」	77.1
「レギュラー・ティ」「Aグリーン」	74.7
「フロント1・ティ」「Aグリーン」	73.2
「フロント2・ティ」「Aグリーン」	70.8
「バック・ティ」「Bグリーン」	75.8
「レギュラー・ティ」「Bグリーン」	73.4
「フロント1・ティ」「Bグリーン」	71.8
「フロント2・ティ」「Bグリーン」	70.0
富士・つばめコース	
「バック・ティ」「Aグリーン」	77.3
「レギュラー・ティ」「Aグリーン」	75.3
「フロント1・ティ」「Aグリーン」	73.7
「フロント2・ティ」「Aグリーン」	71.4
「バック・ティ」「Bグリーン」	75.8
「レギュラー・ティ」「Bグリーン」	73.9
「フロント1・ティ」「Bグリーン」	72.2
「フロント2・ティ」「Bグリーン」	70.4
つばめ・さくらコース	
「バック・ティ」「Aグリーン」	77.4
「レギュラー・ティ」「Aグリーン」	75.1
「フロント1・ティ」「Aグリーン」	73.6
「フロント2・ティ」「Aグリーン」	70.7
「バック・ティ」「Bグリーン」	76.4
「レギュラー・ティ」「Bグリーン」	74.0
「フロント1・ティ」「Bグリーン」	72.5
「フロント2・ティ」「Bグリーン」	69.8

●フォレストゴルフクラブ 東コース

「バック・ティ」「メイングリーン」	77.8
「レギュラー・ティ」「メイングリーン」	75.1
「フロント1・ティ」「メイングリーン」	72.1
「フロント2・ティ」「メイングリーン」	70.6
「バック・ティ」「サブグリーン」	76.6
「レギュラー・ティ」「サブグリーン」	73.9
「フロント1・ティ」「サブグリーン」	70.9
「フロント2・ティ」「サブグリーン」	69.6

●新津カントリークラブ

「バック・ティ」「ベントグリーン」	76.7
「レギュラー・ティ」「ベントグリーン」	74.8
「フロント1・ティ」「ベントグリーン」	72.8
「フロント2・ティ」「ベントグリーン」	70.1

●オリムピック・スタッフ足利ゴルフ

コース	
「バック・ティ」「ベントグリーン」	78.4

分科委員会

「レギュラー・ティ」「ベントグリーン」	76.3
「フロント1・ティ」「ベントグリーン」	74.6
「フロント2・ティ」「ベントグリーン」	68.9

●カナリヤガーデンカントリークラブ

「バック・ティ」「ベントグリーン」	78.4
「レギュラー・ティ」「ベントグリーン」	76.2
「フロント1・ティ」「ベントグリーン」	74.2
「フロント2・ティ」「ベントグリーン」	69.7

●柏崎黒姫カントリー倶楽部

「バック・ティ」「ベントグリーン」	78.0
「レギュラー・ティ」「ベントグリーン」	75.7
「フロント1・ティ」「ベントグリーン」	73.8
「フロント2・ティ」「ベントグリーン」	71.2

●篠ノ井ゴルフパーク：ウィーゴ

「バック・ティ」「ベントグリーン」	76.4
「レギュラー・ティ」「ベントグリーン」	74.4
「フロント1・ティ」「ベントグリーン」	72.5
「フロント2・ティ」「ベントグリーン」	71.3

●武蔵カントリークラブ

笹井コース	
「バック・ティ」「Aグリーン」	78.7
「レギュラー・ティ」「Aグリーン」	77.1
「フロント1・ティ」「Aグリーン」	75.2
「レディース2・ティ」「Aグリーン」	72.6
「バック・ティ」「Bグリーン」	76.9
「レギュラー・ティ」「Bグリーン」	75.3
「フロント1・ティ」「Bグリーン」	73.4
「レディース1・ティ」「Bグリーン」	70.8
豊岡コース	
「バック・ティ」「Aグリーン」	77.4
「レギュラー・ティ」「Aグリーン」	75.5
「フロント1・ティ」「Aグリーン」	74.3
「レディース・ティ」「Aグリーン」	73.4
「バック・ティ」「Bグリーン」	77.2
「レギュラー・ティ」「Bグリーン」	75.4
「フロント1・ティ」「Bグリーン」	74.1
「レディース・ティ」「Bグリーン」	73.3

●東名カントリークラブ

愛鷹・裾野コース	
「バック・ティ」「Aグリーン」	75.5
「レギュラー・ティ」「Aグリーン」	72.9
「フロント1・ティ」「Aグリーン」	70.6
「バック・ティ」「Bグリーン」	77.1

「レギュラー・ティ」「Bグリーン」	74.5
「フロント1・ティ」「Bグリーン」	72.2
裾野・桃園コース	
「バック・ティ」「Aグリーン」	74.6
「レギュラー・ティ」「Aグリーン」	71.9
「フロント1・ティ」「Aグリーン」	70.0
「バック・ティ」「Bグリーン」	75.5
「フロント1・ティ」「Bグリーン」	72.7
「フロント2・ティ」「Bグリーン」	70.7

●桃園・愛鷹コース

「バック・ティ」「Aグリーン」	74.7
「レギュラー・ティ」「Aグリーン」	72.0
「フロント1・ティ」「Aグリーン」	70.2
「バック・ティ」「Bグリーン」	75.8
「レギュラー・ティ」「Bグリーン」	73.2
「フロント1・ティ」「Bグリーン」	71.3

●ダイワウインターズゴルフ倶楽部

「バック・ティ」「ベントグリーン」	77.6
「レギュラー・ティ」「ベントグリーン」	75.1
「フロント1・ティ」「ベントグリーン」	72.8

●東京ゴルフ倶楽部

「バック・ティ」「ベントクロスグリーン」	78.3
「レギュラー・ティ」「ベントクロスグリーン」	76.9
「フロント1・ティ」「ベントクロスグリーン」	74.8
「レディース1・ティ」「ベントクロスグリーン」	74.3
「レディース2・ティ」「ベントクロスグリーン」	74.1
「バック・ティ」「アートグリーン」	77.8
「レギュラー・ティ」「アートグリーン」	76.4
「フロント1・ティ」「アートグリーン」	74.4
「レディース1・ティ」「アートグリーン」	73.9
「レディース2・ティ」「アートグリーン」	73.6

●ゴルフ倶楽部成田ハイッリー

「バック・ティ」「ベントグリーン」	77.9
「レギュラー・ティ」「ベントグリーン」	76.3
「フロント1・ティ」「ベントグリーン」	74.3
「フロント2・ティ」「ベントグリーン」	72.0
「レディース・ティ」「ベントグリーン」	71.0
「バック・ティ」「コーライグリーン」	76.6
「レギュラー・ティ」「コーライグリーン」	75.0
「フロント1・ティ」「コーライグリーン」	73.0
「フロント2・ティ」「コーライグリーン」	70.7
「レディース・ティ」「コーライグリーン」	69.7
桜ヶ丘カントリークラブ	
「バック・ティ」「Aグリーン」	76.8
「レギュラー・ティ」「Aグリーン」	75.3

分科委員会

「フロント1・ティ」「Aグリーン」	73.4
「レディース・ティ」「Aグリーン」	73.1
「バック・ティ」「Bグリーン」	75.2
「レギュラー・ティ」「Bグリーン」	73.7
「フロント1・ティ」「Bグリーン」	71.9
「レディース・ティ」「Bグリーン」	71.4

②査定スケジュールについて

那須野々原カントリークラブ以下7倶楽部について、査定日を以下のよう
に決定した。

15年再査定

- 那須野々原カントリークラブ
11月10日（月）
 - 小田原ゴルフ倶楽部日動御殿場コース
11月12日（水）
 - 富士カントリークラブ
11月25日（火）
 - 嵐山カントリークラブ
12月10日（水）
- 新規・改造査定
- ラ・ヴィスタゴルフリゾート
11月20日（金）
 - いわせロイヤルゴルフ倶楽部
11月27日（木）
 - 上野原カントリークラブ
12月 5日（金）

③女子コースレート査定について

大原委員長より、女子のコースレ
ート査定実施について以下の提案がな
され、全委員これを承認した。
「今年1年間の女子コースレートの机
上査定申請は、男子実地査定倶楽部
の机上査定も含め、1年間で約60倶
楽部と少なく、このまま倶楽部の申
請を待ち、コースレート査定は倶楽
部の申請によって査定するという原
則通り行っていたら、来る平成17年
度の女子JGAハンディキャップの移
行は難しいと考える。従って、女子
コースレートについては、女子ハン
ディキャップの普及を第一に考え、
平成16年1月1日を実施日として、従
来の男子コースレートを一斉に女子
コースレートに置き換える方式をと
る事としたい。ただし、置き換え数
値を正式、暫定机上査定と区別する

ため、新しい名称もあわせて考えた
い。
またこの委員会検討事項は、常務理
事会、理事会に上程することとした
い。」

平成15年度 第6回 月例競技委員会議事録

日 時 平成15年8月15日（金）正午
場 所 KGA会議室
出席者 中野委員長
小室、平山両副委員長
桜井、嶋田、山崎、渡辺各委
員
学生連盟委員

—— 討議及び決議事項 ——

①8月度月例競技報告及び総括

平山副委員長より、下記の報告及び
総括がなされた。
「例年冬期に開催しているコースの
ためコースコンディションの違いに
戸惑う選手が多いようであった。朝
からの強い南風の中でのボールコン
トロールがスコアの明暗を分けたよ
うで、グリーンも見え目より遅く、
スコアメイクに苦労した選手が多か
った様に思われる。」

エントリー数他は以下のとおり
開 催 日 平成15年8月11日（月）
コ ー ス 程ヶ谷カントリー倶楽部
エントリー 143名
（男子95名 女子48名）
欠 席 者 数 事前連絡5名
（男子3名 女子2名）
当 日 連 絡 2名
（男子1名 女子1名）
無 断 欠 席 0名
出 場 者 数 136名
（男子91名 女子45名）
科 罰 者 0名
ミーティング欠席 1名（男子1名）
失 格 者 0名
棄 権 者 0名
次回プレーオフ なし

②9月度月例競技について

9月度月例競技は日高カントリーク
ラブにて開催されるが、コースセッ
ティングは岡野、桜井、嶋田各委員
に一任することを確認した。

③その他

(1)来年度競技日程について
事務局より、来年度競技を予定し
ている11の倶楽部のうち10倶楽部
より「競技開催承諾書」が届いて
いるとの報告があった。未決定の
1倶楽部については中野委員長に
交渉していただき、早めに来年度
競技日程を確定させることとした。
また、来年度は6月度競技を5月31
日に、7月度競技を6月28日に行う
予定であったが、この日程は選手
のエントリーミスの原因になりか
ねないとの見解より、5月31日
に行う競技を5月度競技、6月28日
に行う競技を6月度競技とし、7月
度競技を行わないこととした。

平成15年度 第7回 月例競技委員会議事録

日 時 平成15年9月19日（金）正午
場 所 KGA会議室
出席者 中野委員長
小室、阪田、平山各副委員長
津津、桜井、嶋田、星野、山
崎各委員
学生連盟委員

—— 討議及び決議事項 ——

①9月度月例競技報告及び総括

平山副委員長より、下記の報告及び
総括がなされた。
「真夏を思わせる天候で最高気温が
33度であった。コースコンディショ
ンは良好であったが、高麗グリーン
に不慣れでアプローチやパッティン
グに戸惑っている選手が多い様であ
った。見た目以上にグリーンが速く、
そのためにスコアメイクに苦し
んでいたようである。ショートゲー

分科委員会

ムの技術がそのまま成績に現れた競
技であった。」

エントリー数他は以下のとおり
開 催 日 平成15年9月9日（火）
コ ー ス 日高カントリークラブ
東・西コース
エントリー 131名
（男子94名 女子37名）
欠 場 者 数 事前連絡7名
（男子7名）
当 日 連 絡 1名（男子1名）
無 断 欠 席 0名
出 場 者 数 123名
（男子86名 女子37名）
科 罰 者 0名
ミーティング欠席 0名
失 格 者 0名
棄 権 者 0名
次回プレーオフ なし

②10月度月例競技について

10月度月例競技は千葉カントリーク
ラブ・梅郷コースにて開催されるが、
コースセッティングは平山副委員長
および小坂委員に一任することを確認
した。

③その他

(1)来年度競技日程について
事務局より、来年度競技を予定し
ている11の倶楽部のうち10倶楽部
より「競技開催承諾書」が届いて
いるとの報告がなされた。そのう
ち1月から4月までの競技日程につ
いては近日中にホームページ上で
公開することとし、残りの競技日
程は11月中旬頃公開することを確認
した。
(2)インターネットへの対応について
関東ゴルフ連盟では、去る9月1日
よりホームページを開設し、競技
成績等を掲載しているが、今月度
競技の成績を掲載したところ、あ
る選手より掲載を差し止めてはし
いとの要請があった。しかしなが
ら、ホームページ開設以前も月例
競技成績はFAXサービスやゴルフ
雑誌等で公開しており、また公開

することについて法的には特に問
題がなく公開するメディアが異な
るだけであるとの見解により、今
後も競技成績はすべてホームペー
ジ上に公開していくこととし、全
委員これを了承した。
(3)女子月例競技のレベルアップにつ
いて
学生等の有力選手に参加を呼びか
け、女子競技全体のレベルアップ
を推進していくこととし、全委員
これを確認した。

平成15年度 第2回 ジュニア育成委員会議事録

日 時 平成15年10月21日（火）
午後2時
場 所 ダイアモンドホテル オバールの間
出席者 大鷲委員長
荻原、笠川、川島、嶋田、中
島、藤岡各副委員長
荒井、稲富、大野、唐木、琴
河、佐藤（伊）、佐藤（稔）、
杉山（稔）、田村、東福寺、中
村、林、廣瀬（浩）、廣瀬
（康）、堀田、宮本、元木、山
岡各委員
小野、吉澤、伊藤各都県委員

—— 討議及び決議事項 ——

討議に先立ち、大鷲委員長より今年度
のジュニア活動が無事終了したこと
につき、委員諸氏に対し感謝と御礼の表
明があった。
次いで大鷲委員長が議長となって議事
進行を行なった。

①平成15年度ジュニア育成活動総括・ 反省事項

●関東ジュニアゴルフ選手権競技
シード選手を含めた今年度の申し
込み総人数は823名で、昨年より
26名増加した。過去5年の実績を
見ると徐々に増加傾向が続き、5
年前と比較して100名増加した。た
だし女子15歳～17歳の部は若干の

減少となっている。
(予選)
今年度の予選競技は別紙資料のと
おり6会場で開催した。
6会場全て同日に開催されるため、
例年どおり高ゴ連各校の顧問に運
営の協力を依頼した。また昨年度
まで競技委員会にも協力をお願い
してきたが、競技スケジュールの
過密化もあり、高ゴ連の協力体
制を強化することで、本年度はジ
ュニア委員会単独での運営を行な
った。
道具の進化による飛距離、技術の
進歩は目覚しく、各会場共上位の
成績は素晴らしいものであったが、
ラウンド経験のない生徒をエント
リーしてくるなど、参加資格が守
られない学校もあった。また、ア
テテストミスによる失格が6名出た
ため、来年度はアテテスト指導の強
化を図りたい。

(決勝)
決勝競技は昨年同様茨城ゴルフ倶
楽部の西コースで開催した。
昨年高スコアが出たこともあり、今年度は距離、ホールロケー
ション、ラフ等全体的なコース設
定の見直しを行なった。その結
果、難易度が上がり昨年のような
スコアは出なかったが、それでも
男子15歳～17歳の部のベストスコ
アは65ストロークであり、年々技
術が向上しているのがうかがえる。
女子12歳～14歳の部を除き、全て
アンダーパーでの優勝となった。
昨年は表彰式の欠席者が多く問題
になっていたため、今年はスコア
集計所で各組に必ず出席するよう
に伝えたところ、欠席者は殆ど出
なかった。

また予選、決勝を通じ昨年はドレ
スコードについて問題がなかった
が、今年は女子の服装について多
くの意見があった。オーバーシャ
ツにしてショットのたびにお腹が
みえる選手が目立った。プロの影
響やオーバーシャツタイプが流行

しているということもあるが、委員会としては、エチケット・マナーに抵触するため指導注意をしていきたい。男子の服装は乱れが無くなった。

●ジュニア・ゴルフスクール

参加人数は春夏とも増加している。全体的に小学生が増加傾向にあるためプロの派遣人数を増員した。しかし委員の出席は減少している。危険防止のためにも各組に委員またはプロが付いて指導運営することが望ましい。来年度はより多くの委員にご協力をお願いしたい。

昨年度の委員会決定事項である小学生のクラブ本数制限を実施した。健康管理およびプレーの迅速化を考慮し高学年は10本以内、低学年は7本以内とした。夏のスクールにて親権者から強い抗議があったため経緯を説明した。主催者の意向に添えない場合は委員会より参加辞退を要望することとした。実施結果としては時間内に18ホールラウンドでき体調を悪くする小学生が減少した。

鷹之台カンツリー倶楽部では初めての初級者と中上級者を分けた教室を同日開催した。委員、プロとも熱心な指導で大変好評であった。

●ジュニアゴルフ大会

朝霧ジャンボリーゴルフクラブ第3回を迎え昨年同様1日目スクール、2日目は大会として開催した。参加人数は58名であった。2日間とも途中から濃霧のため中止となった。2日目は高学年が4ホール、低学年が2ホールのプレーを親権者によるスコアラー同行方式で実施し、霧の中でのゴルフ指導を行った。

若洲ゴルフリンクス

第9回を迎え参加者人数は定員を越えたため131名で締め切った。昨年と同様に親権者によるスコアラ

ー同行方式で開催した。男子高学年優勝は71ストローク、女子高学年優勝は77ストローク。クラブの本数制限をしても高スコアとなり技術の向上がうかがえる。

②平成16年度ジュニア育成活動について

春スクールの会場日程を確認した。また鷹之台スクールのような形式で初級者教室を増やすこととした。選手権日程は会場決定次第発表することとした。各都県選出のジュニア委員には、より一層の協力体制を築いていきたい。

③その他

- JGAジュニア会員以外のスクール参加希望が多かったので告知方法を検討することとした。
- 日本ジュニアゴルフ育成協議会の活動内容の報告があった。来年度の埼玉国体を機に埼玉モデルをつくり実施している。このモデルを各地に展開していきたい。

平成15年度 第3 回広報委員会議事録

日 時 平成15年10月2日 (木)
午後3時

場 所 KGA会議室

出席者 普勝副理事長

高橋委員長

伊室副委員長

片山、塩田、杉山、塚越、西

田、舟橋、増田、森口、山田

各委員

— 討議及び決議事項 —

高橋委員長開会を宣し、順次議題審議を行なった。

①インターネットホームページ発足状況

KGAホームページが9月1日より正式開設した。事務局より1ヶ月間のア

クセス内容の報告があった。アクセス総数は17,774件で、各競技終了後は1,000件以上のアクセスを越える日もあり関心の高さがうかがえる。今後も内容の充実を図りKGAニュースの記事とは違う特徴を出していきたい。

②会報広告の募集状況

従来の広告掲載会社からの料金大幅減の申し入れに対し、発行回数削減による対応と新規スポンサーの確保に取り組んできた。このほど1社の参入が確定し従来の3社と合わせた広告掲載となることを確認した。

③KGAゴルフファースカートのPR活動について

各加盟倶楽部の会報誌用の広告記事見本及び挿し込み広告見本を作成し、各倶楽部へ掲載依頼をすることとした。

④KGAニュースNo83総括

前期の選手権決勝競技を中心に構成した。記事は各競技とも筆者により捉え方が違い特徴が出ている点が評価された。なお優勝選手の顔写真が重なったとの意見があり、今後は幅広い表現の写真を入れて競技全体の雰囲気を出すこととした。

⑤KGAニュースNo84企画案

夏のジュニアスクール、及び後期決勝競技の担当と内容を別紙のとおり決定した。また冒頭にコラムを入れ地方分権、ジュニア育成問題、JGAとの関係等を取り上げた内容を検討することとした。

⑥その他

携帯電話サイト「The Golf」において従来の競技成績確認に加えて、10月1日より本人のJGAハンディキャップ確認サービスを始めた。

平成16年度 関東ゴルフ連盟主催競技日程表

平成15年11月20日現在

開催日			競 技 名	予選・決勝	開 催 倶 楽 部
月	日	曜			
4	19	月	関東女子選手権	第1ブロック	桜ヶ丘カントリークラブ (東京都)
	19	月		第2ブロック	芙蓉カントリー倶楽部 (神奈川県)
5	17 (月)・18 (火)			決勝	我孫子ゴルフ倶楽部 (千葉県)
5	10	月	関東アマチュア選手権	第1ブロック	府中カントリークラブ (東京都)
	10	月		第2ブロック	森林公園ゴルフ倶楽部 (埼玉県)
	10	月		第3ブロック	唐沢ゴルフ倶楽部・三好 (栃木県)
	10	月		第4ブロック	筑波カントリークラブ (茨城県)
	12	水		第5ブロック	上総富士ゴルフクラブ・東西 (千葉県)
	10	月		第6ブロック	ゴルフ倶楽部成田ハイツリー (千葉県)
	11	火		第7ブロック	横浜カントリークラブ (神奈川県)
6	7 (月)～10 (木)			決勝	相模原ゴルフクラブ・東 (神奈川県)
5	10	月	関東グランドシニア選手権	第1ブロック	茨城ゴルフ倶楽部・東 (茨城県)
	10	月		第2ブロック	茨城ゴルフ倶楽部・西 (茨城県)
	28	金		決勝	東京ゴルフ倶楽部 (埼玉県)
5	28	金	関東倶楽部対抗	新潟地区	フォレストゴルフクラブ
	25	火		長野地区	穂高カントリークラブ
	25	火		山梨地区	春日居ゴルフ倶楽部
	27	木		群馬地区	ツインレイクスカントリー倶楽部
	27	木		栃木第1地区	那須小川ゴルフクラブ
	25	火		栃木第2地区	杉ノ郷カントリークラブ
	26	水		茨城第1地区	高萩カントリークラブ
	25	火		茨城第2地区	那珂カントリー倶楽部
	24	月		埼玉地区	入間カントリークラブ
	24	月		千葉第1地区	東千葉カントリー倶楽部
	24	月		千葉第2地区	本千葉カントリークラブ
6	21	月	関東シニア選手権	東京地区	八王子カントリークラブ
	12	月		神奈川地区	相模野カントリー倶楽部
	16	金		静岡地区	伊東カントリークラブ
	13	火		決勝	霞ヶ関カンツリー倶楽部 (埼玉県)
7	12	月	関東ミッドアマ選手権	第1ブロック	武蔵松山カントリークラブ (埼玉県)
	16	金		第2ブロック	成田ゴルフ倶楽部 (千葉県)
	13	火		第3ブロック	麻生カントリークラブ (茨城県)
	16	金		第4ブロック	愛鷹シックスハンドレッドクラブ (静岡県)
10	4 (月)・5 (火)			決勝	取手国際ゴルフ倶楽部・西 (茨城県)
8	30	月	関東ミッドシニア選手権	第1ブロック	鶴舞カントリー倶楽部・東 (千葉県)
	30	月		第2ブロック	鶴舞カントリー倶楽部・西 (千葉県)
	30	月		第3ブロック	武蔵カントリークラブ・豊岡 (埼玉県)
	30	月		第4ブロック	朝霧ジャンボリーゴルフクラブ・甲斐/駿河 (静岡県)
9	1	水		決勝	狭山ゴルフ・クラブ・東西 (埼玉県)
9	29 (水)・30 (木)			予選	日高カントリークラブ (埼玉県)
9	13	月		決勝	大熱海国際ゴルフクラブ・大仁 (静岡県)
10	12 (火)・13 (水)			決勝	相模カンツリー倶楽部 (神奈川県)
10	18 (月)・19 (火)		関東女子ミッドアマ選手権		
11	8 (月)・9 (火)		関東アンダーハンディキャップ選手権	決勝	東京ゴルフ倶楽部 (埼玉県)

*本日程は変更になる場合があります。各競技の申込締切日は、実施規定にて正式発表します。関東ジュニア選手権は、決定しだい発表します。

平成16年度 関東ゴルフ連盟月例競技日程表

平成15年11月25日現在

月	開催日	開催コース	申込締切日 (2週間前)
1	1月16日 (金)	袖ヶ浦カンツリークラブ	1月5日 (月)
2	2月10日 (火)	戸塚カントリー倶楽部	1月27日 (火)
3	3月15日 (月)	我孫子ゴルフ倶楽部	3月1日 (月)
4	4月16日 (金)	相模原ゴルフクラブ・東	4月2日 (金)
5	5月31日 (月)	相模カンツリー倶楽部	5月17日 (月)
6	6月28日 (月)	龍ヶ崎カントリー倶楽部	6月14日 (月)
8	8月9日 (月)	程ヶ谷カントリー倶楽部	7月26日 (月)
9	9月17日 (金)	東京ゴルフ倶楽部	9月3日 (金)
10	10月26日 (火)	箱根カントリー倶楽部	10月12日 (火)
11	11月25日 (木)	茨城ゴルフ倶楽部	11月11日 (木)
12	12月	未定	未定

*本日程は変更になる場合があります。12月月例競技の日程及び開催コースは、決定しだい発表します。

